

デジタルコードレス電話機

UM7700

取扱説明書



- 本書には製品を安全に使用していただくための注意事項が書かれています。ご使用になる前に必ずお読みください。
- ご使用になる間は、本書を製品の近くに保管していつでも活用できるようにしてください。

安全上のご注意 必ずお守りください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。

 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

 記号は行為を強制指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意 必ずお守りください

■ ご使用にあたってのお願い

- 本製品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本製品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本製品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本製品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な製品です。本製品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本製品を廃棄、譲渡、返却される際には、本製品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。
- 本製品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
本製品を分解したり改造したりすることは違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 製品の的外観、機能および本書などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店へお申しつけください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてからお買い求めの販売店などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。
- 使用済の本製品を廃棄される際には、環境省より認可されている OKI グループの産業廃棄物広域認定制度をご利用いただくか、廃棄物処理法にしたがって廃棄してください。廃棄についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店までご連絡ください。

危険



禁止

電池パックの充電は、本製品専用の充電台、ACアダプタを使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液漏れ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。



電池パックは、プラス・マイナスの向きが決められています。本電話機に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。間違った接続をすると、電池パックの液漏れ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。



禁止

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液漏れ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。



禁止

電池パックは、本製品専用です。本製品以外の機器で使用すると、電池パックの液漏れ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

危険



禁止

電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液漏れ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

- 火の中に投入したり、加熱しない
- 直接はんだ付けしない
- プラス・マイナスを針金などの金属類で接触しない
- 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない
- 外装チューブ(被覆)をはがしたり、傷つけない
- 水や海水につけたり、ぬらさない
- 電子レンジや高圧容器に入れたりしない



禁止

電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液漏れ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。



電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



液漏れや異臭がするときは直ちに電源を切り、火気より遠ざけてください。

安全上のご注意 必ずお守りください

警告 〈設置について〉



禁止

本製品のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本製品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

本製品を次のような環境で充電・使用・放置しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガス、引火性ガスなどが発生する場所
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

警告 〈お取り扱いについて〉



禁止

電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

警告 〈お取り扱いについて〉



禁止

万一、煙が出ている、変なにおいがするなど今までと異なる状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本電話機の充電をやめ、充電台やACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜き、電池パックを本体から出し、煙が出なくなるのを確認し、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



分解禁止

本製品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理はお買い求めの販売店にご依頼ください。



禁止

本製品に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

本製品を火のそば、暖房設備（ストーブのそば、こたつの中など）やボイラーの近くなど、温度が高くなる状態で、長時間身につけて使用しないでください。また、ACアダプタを接続した状態（充電状態）で身につけて使用しないでください。低温やけどの原因となります。

 **警告** (お取り扱いについて)



本製品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、本電話機の充電をやめ、充電台やACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



ACアダプタの電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



テーパータップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



ACアダプタを電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。ACアダプタのプラグに金属などが触れると、火災、感電の原因となることがあります。

 **警告** (お取り扱いについて)



電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。



充電台の電源コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに充電台やACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。



万一、本製品を落としたり、本製品内部に水などの液体が入った場合、すぐに本電話機の充電をやめ、充電台やACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



本製品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本製品の充電をやめ、充電台やACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

警告 (お取り扱いについて)



電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。



電池パックから液漏れしたり異臭がする時には直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。



充電台や AC アダプタの電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関してはお買い求めの販売店にご相談ください。



禁止

充電台の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。



禁止

電子レンジや高圧容器に、本製品、充電台および AC アダプタを入れないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

警告 (お取り扱いについて)



禁止

自動車、自転車などの運転中や歩行中に、絶対に本製品を操作したり、見たりしないでください。交通事故や転倒などの原因となることがあります。



禁止

本製品をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけどの原因となることがあります。



禁止

本製品やコード類を熱器具に近づけないでください。本製品やコード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

本製品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。



禁止

本製品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

 **警告** 〈お取り扱いについて〉



自動ドア、火災報知機器等の自動制御機器の近くで使用しないでください。本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



心臓ペースメーカーの装着部位から30cm以上離してください。電波によりペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。



近くに雷が発生したときは、すぐに充電台やACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



ACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



電池パックの充電時に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

 **注意** 〈設置について〉



本製品は次のような場所に置かないでください。落ちたりして、破損、けがの原因となることがあります。

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所
- ・振動、衝撃の多い場所

 **注意** 〈お取り扱いについて〉



本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電台やACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



本電話機や充電台をお手入れするときは、安全のため必ずACアダプタの電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。



本製品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください。発熱により火災、感電の原因となることがあります。



磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカードなどの登録情報が消去される場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お願い（お取り扱いについて）



禁止

本製品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大ききときは、電話機などの設置場所を移動してみてください。



禁止

硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本製品の寿命が短くなることがあります。



禁止

金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。

お願い（お取り扱いについて）



周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。

- 本製品のディスプレイ上で電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。



本製品を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。



トラックや自動車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。



本製品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本製品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

STOP お願い（お取り扱いについて）



禁止

本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を与えたり、重いものを上にのせないでください。ズボンなどの後ろのポケットに入れたまま椅子などに座らないでください。液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となることがあります。



本電話機は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電台に置き、充電ランプの点灯を確認してください。



禁止

エアコンの吹き出し口付近や急激な温度変化の起こる場所で充電・使用・放置しないでください。結露により内部が腐食し故障の原因となることがあります。



身につけている場合、汗などの湿気により本製品内部が腐食し故障の原因となることがあります。

STOP お願い（お取り扱いについて）



禁止

本製品は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。

- ぬらさないでください。
- 浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
- レシーバやマイクの穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- 本製品に水滴が付いたまま、充電台に戻さないでください。
- ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。

調査の結果、水濡れによる故障と判明した場合は、無料保証対象外となります。



本製品は、デジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の方法を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。



禁止

本製品にて通話中またはイヤホンマイクを耳に付けたままでのプラグの抜き差しは行わないでください。大きな雑音が発生する原因となります。

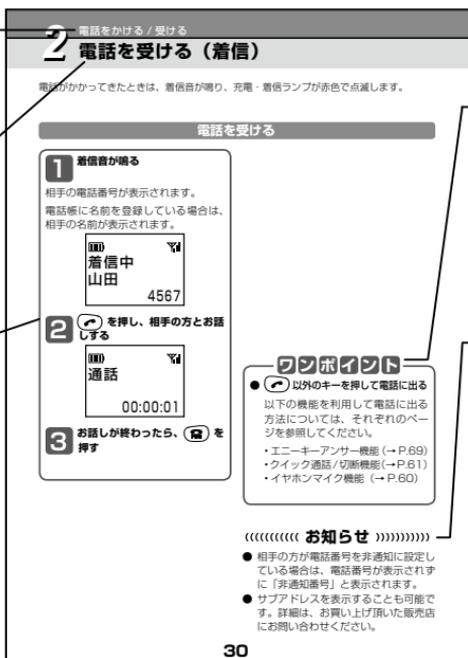
取扱説明書の見方

■ 操作説明ページの構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明
順番に操作を説明しています。



ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

「お願い」または「お知らせ」
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できないか、機能停止を招く内容を示しています。

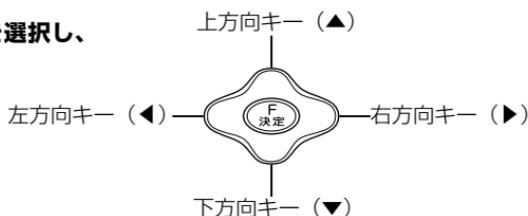
「(…………… お知らせ) ……………」
この表示は、本製品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

■ 上下左右方向キーの表記について

この取扱説明書では、上下左右方向キーを用いての操作を、キーのイラストの代わりに▲▼◀▶を用いて説明しています。

< 例 >

3 ▲▼で電話帳データを選択し、
着信を押す



注意事項

■ 電池パック回収のお願い



本製品の電池パックにはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてお買い求めの販売店へお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

■ 輸出規制

注意

本製品は、外国為替及び外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

目次

安全上のご注意 必ずお守りください	1
取扱説明書の見方	10
注意事項	11
1 ご使用の前に	
セットの内容	17
各部の名称とはたらき	18
ディスプレイ/ランプの見方	20
電池残量表示について	22
電池残量の目安(常温:25℃で使用した場合の例)	22
デジタルコードレス電話機の準備をします	23
電池パックを取り付ける	23
デジタルコードレス電話機を充電する	23
電源を入れる	25
メニューについて	26
日付と時刻を設定します	27
2 電話をかける / 受ける	
電話を使う	28
電話をかける	29
かかってきた相手にかけ直す(着信履歴)	30
前にかけた相手にかけ直す(発信履歴)	31
電話を受ける(着信)	32
電話を受ける	32
電話に出られないとき(クイックサイレント)	33
保留する	34
お話し中に保留する	34
フッキングする	34
転送する	35
3 電話帳を使う	
文字入力について	36
入力モードを選択する	36
キーに割り当てられた文字	36
文字入力方法	38
電話帳を登録する	42
名前と電話番号を登録する	42
電話帳グループに名前をつける	45
電話帳を表示する	46
名前から検索する	46
グループ No. から検索する	47
メモリ No. から検索する	47
電話帳の検索方法を設定する	48

電話帳を編集 / 削除する	49
電話帳を編集する	49
電話帳を削除する	50
電話帳を全削除する	51
電話帳を使って電話をかける	52
通話中に電話帳検索する	53
通話中に電話帳検索し転送する	53

4 便利な使い方

ファンクションキーを利用する	54
ファンクションキーに登録する	54
ファンクションキーを使って電話をかける	55
音量を調節する	56
着信音量を調節する	56
受話音量を調節する	57
マナーモードを設定 / 解除する	58
着信音を設定する (着信タイプ)	59
着信音を設定する (PHS 着信タイプ)	60
PHS 優先設定を有効にする	60
着信種別の選択方法を切り替える	61
PHS 優先着信音を呼出信号ごとに設定する	62
PHS 優先着信音を着信回線の種別ごとに設定する	63
PHS 優先着信音をリセットする	64
かかってきた相手によって着信音を変更する (発G 着信タイプ)	65
発G 着信設定を有効にする	65
発G 着信音を選択する	66
発G 着信音をリセットする	67
バイブレータを設定する	68
キー操作音量を調節する	69
発番号通知を設定する	70
特別番号 (特番) を付加する	71
イヤホンマイクを使う	72
イヤホンマイクで電話を受ける	72
クイック通話 / 切断を設定する	73
アンテナサーチを使う	74
自内線番号の表示の有無を設定する	75
自内線番号を表示する	75
バックライトを設定する	76
コントラストを調整する	77

目次

通話時間を調べる	78
前回の通話時間を調べる	78
通話の積算時間を調べる	79
キーロックを設定 / 解除する	80
エニーキーアンサーを設定する	81
ダイヤルロックを設定 / 解除する	82
オートロックを設定する	83
弱電界アラームを設定する	84
低電圧アラームを設定する	85
OS モードを設定する	86
OS モードを自動 / 手動で切り替える	86
OS モードに名前を付ける	87
トランシーバーとして使用する	88
トランシーバーモードに切り替える	89
トランシーバーモードを終了する	89
トランシーバーで呼び出す	90
トランシーバーで応答する	91
暗証番号を設定する	92
メモリをリセットする	93
機能をリセットする	94
電話帳を禁止する	95
電話帳を転送する	96
機器を接続する	96
電話帳受信側の転送を準備する	96
電話帳送信側の転送を準備する	97
電話帳を転送する	97
アラーム機能を利用する	98
アラームを設定 / 解除する	98
アラーム通知を止めるには	99

5 メッセージ送受信機能を利用する

メッセージを送信する	100
新規メッセージを入力して送信する	100
受信したメッセージを読む	102
メッセージを受信したとき	102
メッセージを読む	103
返信メッセージを送る	104
電話帳に登録する	105
メッセージを削除する	105

送信 BOX のメッセージを管理する	106
送信メッセージを表示する	106
送信メッセージを編集する	107
電話帳に登録する	107
メッセージを削除する	108

6 付録

日常のお手入れについて	109
電池パックを交換する	110
困ったときは	111
仕様	113
各機能の設定値	114
お問い合わせ先	116
保証書	117
索引	119

1 セットの内容

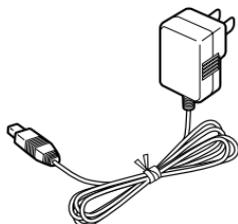
セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、お買い求めの販売店へご連絡ください。



デジタルコードレス電話機 (1台)

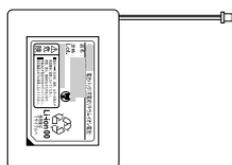


充電台 (1台)



ACアダプタ (1個)

※形状は実物と異なる場合があります



電池パック (1個)

取扱説明書 (本書) (1冊)

■ 消耗品・別売り品 (オプション)

消耗品、別売り品などについては、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

○電池パック

電池パックは消耗品です。長時間充電してもすぐ電池の残量がなくなる場合は、新しい電池パックに交換してください。ご購入についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。



使用後はお買い求めの販売店にご持参頂くか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■ 別売り品 (お客様でご用意ください)

○イヤホンマイクは、携帯電話用平型タイプの市販品をご利用ください。

イヤホンマイクの取り付けについては「イヤホンマイクを使う」(→P.72)を参照してください。

なお、イヤホンマイクの種類によっては、通話品質が若干落ちるものがあります。



プラグ極数: 10極

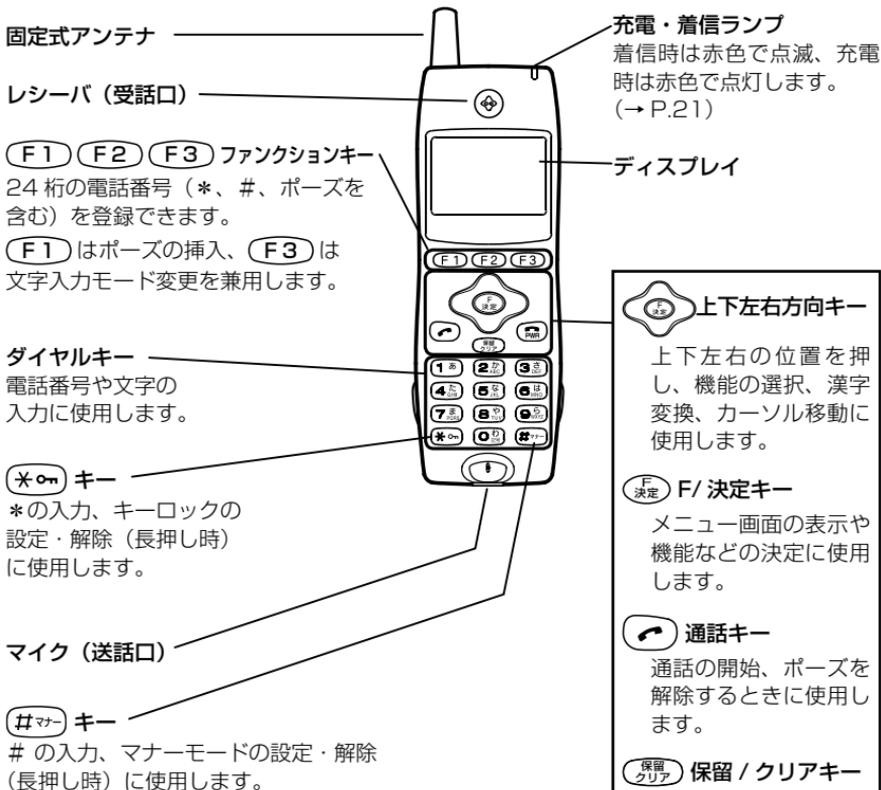
プラグ形式: EIAJ RC-5240

携帯電話用角型コネクタ用プラグ

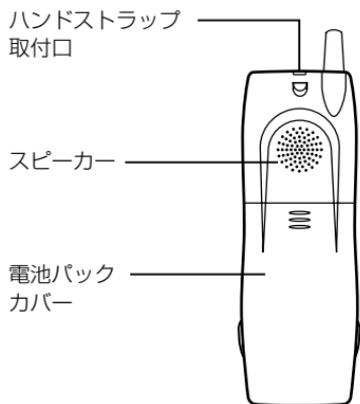
各部の名称とはたらき

■ 本体

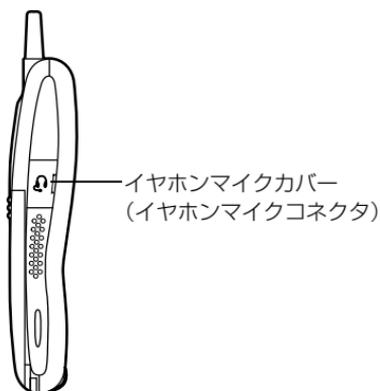
〈前面〉



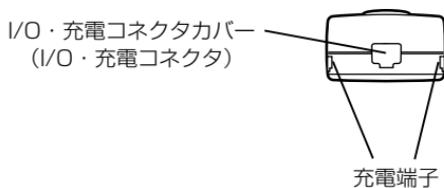
〈背面〉



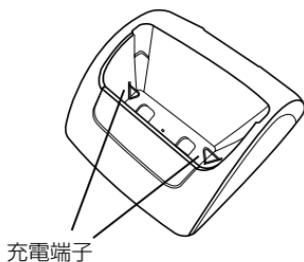
〈側面〉



〈底面〉

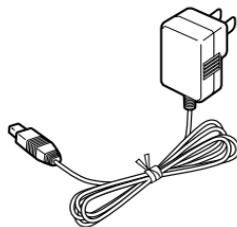


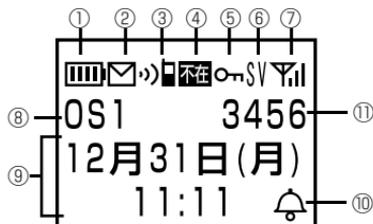
■ 充電台



■ AC アダプタ

※形状は実物と異なる場合があります。





■ ディスプレイ表示について

表示		説明
①		<p>電池残量の目安を5段階で表します。</p> <p> 十分あります</p> <p>↓</p> <p></p> <p>↓</p> <p></p> <p>↓</p> <p> 少なくなっています。充電をお勧めします。</p> <p>↓</p> <p> 残量0です。すぐに充電してください。</p> <p>※電池残量が0に近づくと、ディスプレイに「充電してください」と表示されます。</p> <p>※充電中は、充電中を示すアイコン が表示されます。</p> <p>※電源を入れた直後や充電台からデジタルコードレス電話機を持ち上げた直後、I/O・充電コネクタからACアダプタプラグを抜いた直後は、電池残量アイコンの表示開始までに数秒かかります。</p>
②		受信したメッセージがあるときに表示されます。(→P.102)
③		履歴表示画面で、現在表示している履歴表示が着信履歴か発信履歴かを表します。
		着信履歴 (→P.30)
		発信履歴 (→P.31)
	文字入力モード	漢 加 英 数
メッセージBOX		メッセージ一覧画面で、現在表示しているメッセージBOXの種類を表します。
		受信BOX (→P.103)
		送信BOX (→P.106)
ローミング中表示	Rm	ローミング中 (Roaming) のときに表示されます。(→P.28)
④		電話に出られなかった着信があるときに表示されます。

表示		説明
⑤		キーロックを設定しているときに表示されます。(→P.80)
		エニーキーアンサー機能の「キーロック中オン」が選択されている場合に、キーロック設定したときに表示されます。(→P.80)
⑥	S/V/SV	現在のモードが次のように表示されます。 S : サイレントモード (→P.56) V : バイブレータモード (→P.68) SV : マナーモード (→P.58)
⑦		電波の強さを5段階で表します。  電波が十分届いています。  ↓  ↓  電波がほとんど届いていません。  圏外です。
⑧	OS1 ~ OS5	現在のオフィスステーションモード (OS モード) を表示します。OS1 ~ OS5 は、個別に名称を登録できます。(→P.87) OS1 ~ OS5 を選択して切り替えることができます。(→P.86) OS1 ~ OS5 の自動切替ができます。(→P.86)
	TR	トランシーバーモードのときに表示されます。(→P.88)
⑨	表示部	現在の日時や電話番号などが表示されます。
⑩		アラーム機能 (アラーム通知) が「オン」に設定されているときに表示されます。(→P.98)
⑪	⑪ 自内線番号 / TR 番号 (例 : 3456 など)	自分の内線番号を表示します。表示しない設定にすることもできます。(→P.75) トランシーバーモードのときは、TR 番号を表示します。(→P.88)

■ ランプ表示について

デジタルコードレス 電話機の状態	ランプの つきかた	説明
充電時	点灯 (注)	充電中です
	点灯→消灯	充電が完了しました
	ゆっくり点滅 (1 秒間隔)	周囲温度が異常ですので、充電を停止しています
着信時	点滅	電話がかかってきたときなど
充電中に着信したとき	点滅	充電中に電話がかかってきたときなど

(注) 電池が空の場合、充電ランプが点灯するまでに数分かかることがあります。

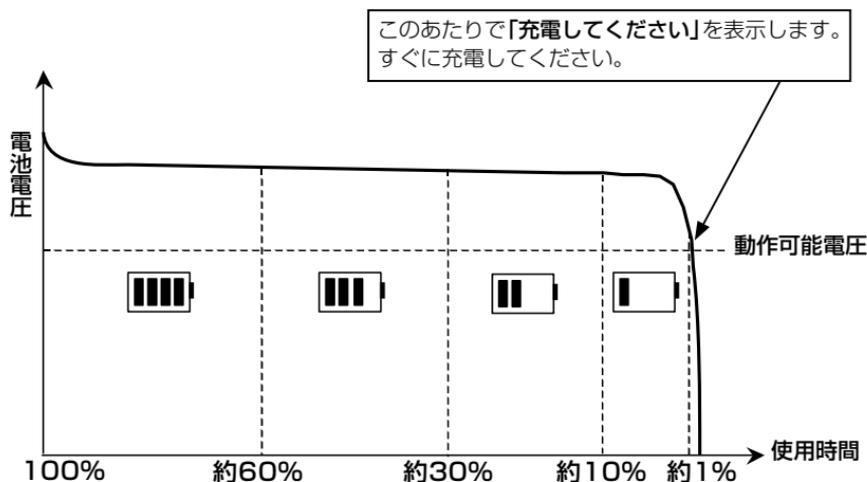
電池残量表示について

デジタルコードレス電話機の電池残量表示は、ご使用の時間経過とともに下図のように変化します。

ディスプレイのレベル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池交換の目安にしてください。

※安定してお使いいただくために、電池残量表示レベル1  が表示されたら充電することをお勧めします。

電池残量の目安（常温：25℃で使用した場合の例）



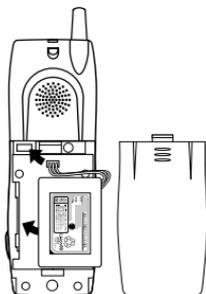
- ご使用の温度条件によって上図の電池レベルの表示は次のように変化します。
低温下では、レベル1が早めに表示されます。
高温下では、レベル1が遅めに表示されます。
- 低温下でご使用の場合、特に使用可能時間が短くなります。
(電池の性能は一時的に低下しますが、常温に戻れば回復します)

デジタルコードレス電話機の準備をします

はじめてお使いになるときは、デジタルコードレス電話機に電池パックを取り付け、充電してからご使用ください。

電池パックを取り付ける

1 デジタルコードレス電話機に電池パックを取り付ける



※ 電池パックのケーブルは、赤い線が左側になるように取り付けてください。

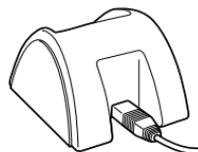
お願い

- デジタルコードレス電話機および充電台がぬれているときは、必ずかわいた布などでふき取ってから充電してください。
- 充電は周囲の温度が5℃～40℃の間で行ってください。5℃以下のときや40℃以上のときは正しく充電できないことがあります。その場合は充電・着信ランプがゆっくり点滅します(1秒間隔)。
- 充電が正しく行われていないと、デジタルコードレス電話機の充電・着信ランプが点灯しません。デジタルコードレス電話機を正しく置き直すか、ACアダプタプラグをしっかりと差し込み直してください。また、電池が古くなったり、壊れているときにもデジタルコードレス電話機の充電・着信ランプが点灯しないことがあります。この場合は電池パックの交換が必要です(→P.110)。

デジタルコードレス電話機を充電する

電池残量は画面にアイコンで表示されます。

1 ACアダプタのプラグを充電台のACアダプタ挿入口に差し込む



※ プラグは、▲マークが下側になる状態で差し込んでください。

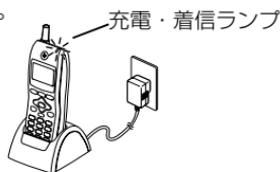
2 電源プラグを電源コンセント(AC100V)に差し込む



※形状は実物と異なる場合があります。

3 デジタルコードレス電話機を充電台に置き、5.5時間以上充電する

充電中は充電・着信ランプが赤く点灯します。



充電が完了すると、充電・着信ランプが消灯し、画面に  が表示されます。

ワンポイント

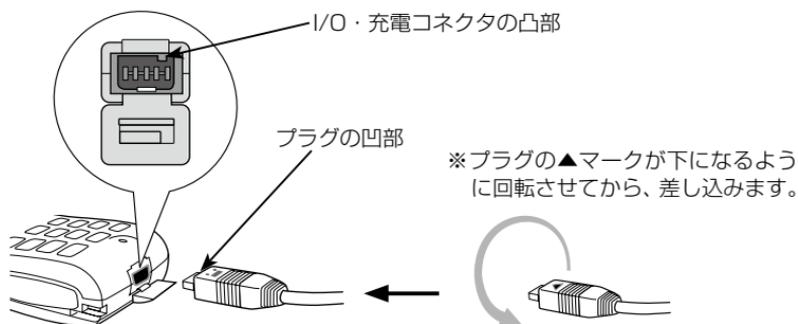
● 充電時間と使用可能時間

充電時間	約 5.5 時間
連続待受時間	約 700 時間
連続通話時間	約 7 時間

● AC アダプタや各種コネクタ付きケーブルを電話機へ差し込む向きについて

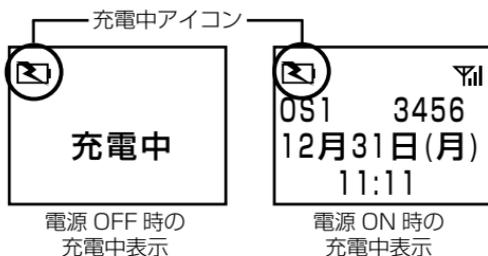
I/O・充電コネクタに AC アダプタプラグを差し込んで充電することもできます。その他各種コネクタ付きケーブル(注)を差し込むときには、下図のように、電話機の I/O・充電コネクタの凸部とプラグの凹部の位置を合わせてまっすぐに差し込んでください。位置を合わせずに逆向きに無理に差し込もうとするとコネクタ破損の原因となります。

(注) 電話帳転送ケーブル等(別売)



● 充電中の表示について

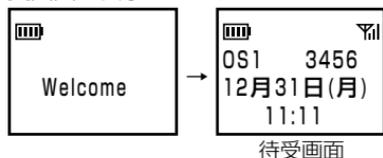
充電中は、電池残量アイコンの位置に、充電中を示すアイコン  が表示されます。電源 OFF 時と電源 ON 時では、充電中の表示が異なります。



電源を入れる

1  を長押し (約2秒以上) する

Welcome 画面が表示されたあと、待受画面が表示されます。



(((((((((((お知らせ))))))))))))

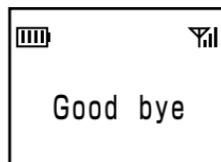
- 充電中は充電台や AC アダプタ、デジタルコードレス電話機が温かくなることがありますが、故障ではありません。
- 充電台、AC アダプタは、必ず同梱されている専用の充電台、AC アダプタをお使いください。
- 電池パックの使用条件により、電池の消耗に伴い電池パックが膨らむ場合がありますが、これはリチウムイオン電池の特性です。誤った使用をされない限り安全上には問題はありません。
- 電池パックを長持ちさせるためには

- 電池残量表示がレベル1になってから充電することをお勧めします。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
- 電池パックを高温下へ置かないでください。長時間使用しない場合は、本体から外して、25℃以下の乾燥した場所で保管してください。保管の際は、電池残量表示がレベル2以下での保管を行い、12ヶ月を目安に補充電することをお勧めします。
- 電池パックへ強い衝撃を与えないでください。本体や電池パックを落とさないようにご注意ください。

ワンポイント

● 電源を切るには

長時間使用しない場合は、 を長押し (約2秒以上) して電源を切ります。次の画面が表示されたあと、電源が切れます。



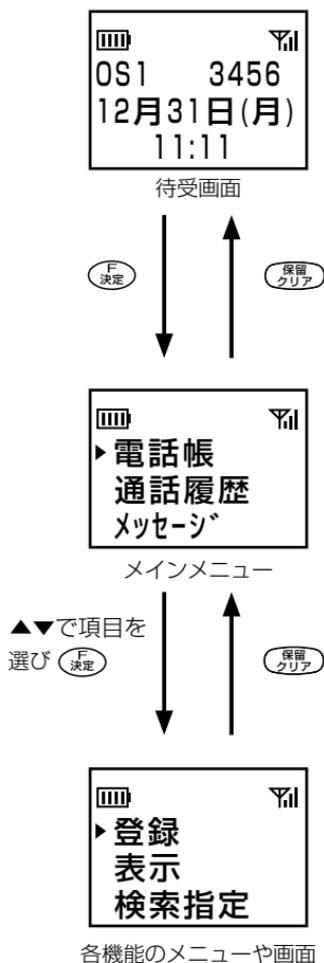
● イヤホンマイクを取り付けるには

イヤホンマイクカバーを開けて、イヤホンマイクコネクタにイヤホンマイクのプラグを差し込んでください (→ P.72)。



※コネクタにプラグを差し込むときは向きに気をつけて、コネクタの凸部とプラグの凹部の位置を合わせてまっすぐに差し込んでください。逆向きに無理に差し込もうとするとコネクタ破損の原因となります。

電話機のいろいろな機能を利用するには、メインメニューから操作します。



ワンポイント

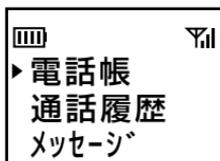
- 電話機の操作中は、待受状態のときより電池が早く消耗するため、デジタルコードレス電話機には以下の機能が備わっています。
 - 電話機の操作中に、一定時間キーの入力がないときは、自動的に待受画面に戻ります。
 - 持ち運びなどの際に誤ってキーを入力しても、待受画面に戻り、電池の消耗を抑えます。

日付と時刻を設定します

現在の日付と時刻を設定します。

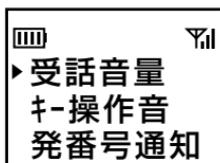
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



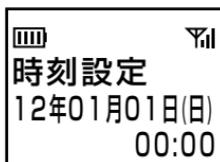
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「時刻設定」を選択し、 を押す

時刻設定画面が表示されます。



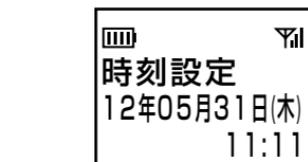
4 年、月、日、時刻をダイヤルキーで入力する

年(西暦2桁)→月(2桁)→日(2桁)→時(2桁)→分(2桁)の順に入力します。

カーソルを移動するには、◀または▶を押します。

(例) 2012年5月31日11時11分と入力する場合

     
    の順に押し



5 を押す

日付と時刻が設定され、サービスメニューに戻ります。

ワンポイント

- 間違えて入力したときは
間違えた位置までカーソルを戻し、
上書きします。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 日付と時刻を設定しないと、着信履歴、
発信履歴などで日付・時刻が表示され
ません。

2 電話をかける / 受ける

電話を使う

本機（デジタルコードレス電話機）は、サービス用アンテナ（基地局）を設置してあるサービスエリア内で利用できます。

■ 電話機のご利用にあたって

本機は、サービスエリア内に設置されている基地局と通信しているため、電波状態の悪いところに移動したり、遮蔽物で電波を遮られたりした場合は、サービスエリア内であっても、通話が切れたり、着信音が鳴っても通話できないことがあります。

通話中の移動などにより、現在利用している基地局の電波が弱くなると、いったん通話が途切れ、新しい基地局へ自動的に切り替わります（これをハンドオーバーと呼びます）。ハンドオーバーのとき、電波状態が悪かったり、遮蔽物で電波が遮られていたときは通話が切れることがあります。本機ではこのようなとき、通話が切れる寸前であることを警告音（弱電界アラーム）を鳴らしてお知らせします（→ P.84）。

ローミング機能が使用されているときは、電話機のディスプレイにローミング中アイコン（Rm）が表示されます（→ P.20）。

ワンポイント

- 警告音は、サービスエリアの外へ出てしまったときも鳴らすことができます。
- ローミング機能は、別拠点へ移動した場合でも、同じデジタルコードレス電話機を利用できるようにする機能です。
お使いの環境でローミング機能が利用可能かどうかについては、お買い求めの販売店にご確認願います。
- ローミング中アイコン（Rm）は、発信履歴アイコン（☎️/📞）、文字入力モードアイコン（漢 / ｶ / 英 / 数）と同じ位置に表示されるため、履歴表示中や文字入力中は表示されません。
また、普段お使いの拠点にいる場合や圏外の場合も、ローミング中アイコン（Rm）は表示されません。

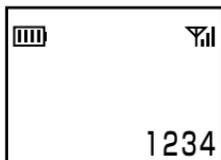
(((((((((((お知らせ))))))))))

- ハンドオーバーが発生したとき、新しい基地局の利用状況によっては、通話の途切れが1秒程度になる場合があります。電波状態が悪いほど遮蔽物などの影響を受けやすくなります。
- 本機は、デジタル方式の電波を使用しています。第三者が市販の受信機を用いて電波を傍受しても意味の無い雑音としか聞こえません。しかし特殊な手段を講じた場合は傍受される可能性がありますので、ご注意ください。

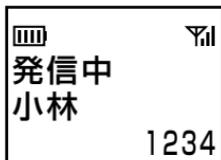
■ 方法その 1

1 電話番号を押す

電話番号が表示されます。

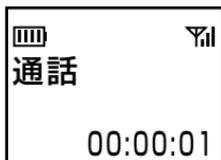
2  を押す

電話帳に名前が登録されている場合は、相手の名前が表示されます。

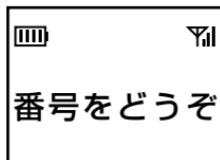


3 相手の方が出たら、お話しする

通話時間が表示されます。

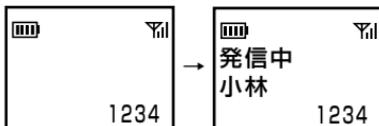
4 お話しが終わったら、 を押す

■ 方法その 2

1  を押す

2 電話番号を押す

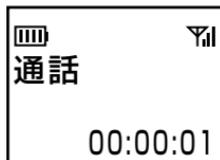
電話番号が表示されます。



(入力が終了したら右の画面に自動的に変化します)

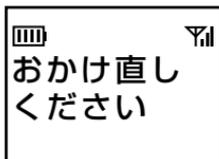
3 相手の方が出たら、お話しする

通話時間が表示されます。

4 お話しが終わったら、 を押す

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 発信接続できなかった場合は、右の画面が表示されます。



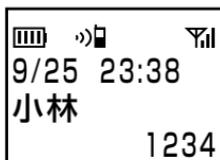
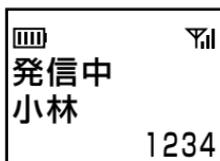
かかってきた相手にかけ直す（着信履歴）

着信履歴に電話番号が記憶されている相手には、簡単にかけ直すことができます。

1 待受画面で▼を押す

着信履歴画面が表示されます。

2 ▲▼でかけ直したい電話番号を表示させる

3  を押す

4 相手の方が出たら、お話しする

5 お話しが終わったら、 を押す

ワンポイント

● メインメニューから着信履歴を表示する

手順1の代わりに、次の操作で着信履歴を表示させることもできます。

- ①  を押す
- ② ▲▼で「通話履歴」を選択し、
 を押す
- ③ ▲▼で「着信履歴」を選択し、
 を押す

● 着信履歴は同じ電話番号を二重に記録しません。

同じ電話番号から複数回かかってきた場合、最後に電話がかかってきた日付と時刻、不在着信状態を記録しています。

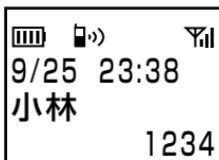
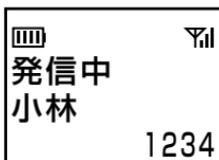
前にかけた相手にかけ直す（発信履歴）

発信履歴に電話番号が記憶されている相手には、簡単にかけ直すことができます。

1 待受画面で▲を押す

発信履歴画面が表示されます。

2 ▲▼でかけ直したい電話番号を表示させる

3  を押す

4 相手の方が出たら、お話しする

5 お話しが終わったら、 を押す

ワンポイント

● メインメニューから発信履歴を表示する

手順1の代わりに、次の操作で発信履歴を表示させることもできます。

- ①  を押す
- ② ▲▼で「通話履歴」を選択し、
 を押す
- ③ ▲▼で「発信履歴」を選択し、
 を押す

● 発信履歴は同じ電話番号を二重に記録しません。

同じ電話番号に複数回かけた場合、最後にかけた日付と時刻を記録しています。

2

電話をかける / 受ける

電話を受ける (着信)

電話がかかってきたときは、着信音が鳴り、充電・着信ランプが赤色で点滅します。

電話を受ける

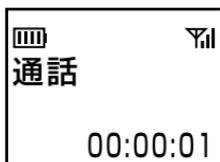
1 着信音が鳴る

相手の電話番号が表示されます。

電話帳に名前を登録している場合は、相手の名前が表示されます。



2 を押し、相手の方とお話 しする



3 お話が終わったら、 を 押し

ワンポイント

-  以外のキーを押して電話に出る
以下の機能を利用して電話に出る方法については、それぞれのページを参照してください。
 - ・エニーキーアンサー機能 (→ P.81)
 - ・クイック通話 / 切断機能 (→ P.73)
 - ・イヤホンマイク機能 (→ P.72)

((((((((((((お知らせ))))))))))

- 相手の方が電話番号を非通知に設定している場合は、電話番号が表示されずに「非通知番号」と表示されます。
- サブアドレスを表示することも可能です。詳細は、お買い上げ頂いた販売店にお問い合わせください。

電話に出られないとき（クイックサイレント）

着信音が鳴っても電話に出られないときは、着信を拒否することができます。

1 着信音が鳴ったら、 を押す

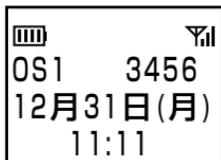
着信音が停止します。

※ 電話をかけてきた相手には引き続き、呼び出し音が聞こえています。

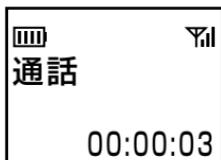


2 もう一度 を押す

着信を拒否して、待受画面に戻ります。



※ 手順2で  の代わりに  を押した場合は、電話に出ることができます。



2

電話をかける / 受ける

保留する

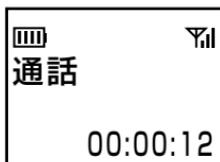
お話し中に相手の方に待っていただきたいときは、電話を保留にします。

お話し中に保留する

1 お話し中に相手に待っていただくように伝える

2  を押す

相手の方には保留音が流れます。



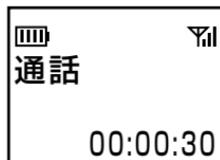
3 お話しに戻るときは  を押す

フッキングする

1 外線でお話し中に相手に待っていただくように伝える

2  を押す

相手側にはフッキング信号が送出されます。



3 お話しに戻るときは  を押す

2 電話をかける / 受ける

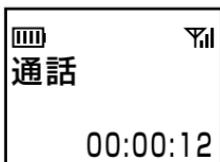
転送する

お話し中の電話を他の相手に転送することができます。

1 お話し中に相手に待っていただくように伝える

2  を押す

相手の方には保留音が流れます。



3 転送する相手の番号をダイヤルキーで押す

番号が表示されます。

最大 24 桁まで表示されます。



4 転送した相手が出たら転送することを伝え、 を押す

2 電話をかける
受ける

ワンポイント

- 電話帳に登録されている相手に転送するには
手順 3 で相手の電話番号をダイヤルする代わりに  を押します。電話帳の表示検索メニューが表示されるので、相手の電話番号を検索します。詳細は、「通話中に電話帳検索し転送する」(→P.53)を参照してください。

(((((((((((**お知らせ**))))))))))

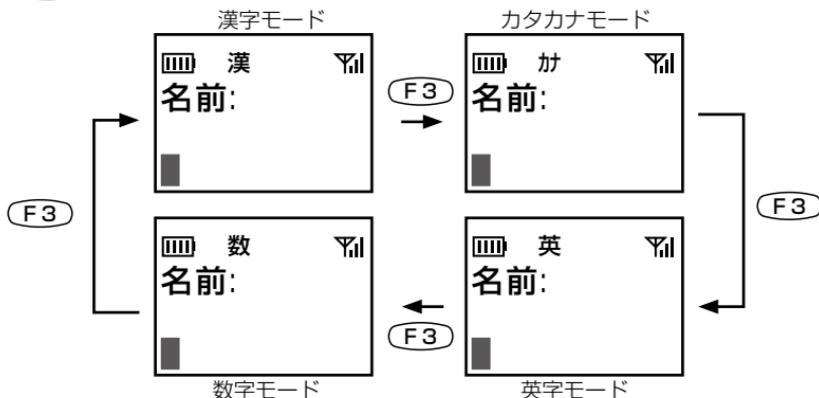
- ダイヤルキーの入力中に約 10 秒以上何も操作をしないと、通話中の画面に戻ります。

文字入力について

文字入力時には、漢字、ひらがな、カタカナ（半角、全角）、英字、数字を入力することができます。(F3) で入力モードを選択し、ダイヤルキーで入力させたい文字を表示させます。

入力モードを選択する

(F3) を押すごとに、次のように入力モードが切り替わります。



キーに割り当てられた文字

キー	漢字モード	カタカナモード	英字モード	数字モード
1 あ	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ	@. /_	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	abcABC	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	defDEF	3
4 た GHI	たちつとっ	タチツテトツ	ghiGHI	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	pqrsPQRS	7
8 や TUV	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	tuvTUV	8
9 り WXYZ	らりるれる	ラリルレロ	wxyzWXYZ	9
0 わ ワ	わをんー、。?!「」 () { } []	ワヲン-、。?!「」 () { } []	./+ -= : ; ? ! <> 0 { } []	0
* 〇	* (濁点) ° (半濁点)	* (濁点) ° (半濁点)		*
# マー	改行 (電話帳登録時は無効)			#

(次ページに続く)

キー	漢字モード	カタカナモード	英字モード	数字モード
(F3)	入力モードの変更 (漢字→カタカナ→英字→数字→漢字…)			
▲	入力位置を上へ移動 (電話帳登録時は無効) 変換候補を上へ移動	入力位置を上へ移動 (電話帳登録時は無効)		
▼	入力位置を下へ移動 (電話帳登録時は無効) 文字候補からの変換 変換候補を下へ移動	入力位置を下へ移動 (電話帳登録時は無効)		
◀	入力位置を左へ移動 変換したい文字を左へ 移動	入力位置を左へ移動		
▶	入力位置を右へ移動 変換したい文字を右へ 移動	入力位置を右へ移動		
(F)決定	入力候補の決定 変換候補の決定 入力文字の決定	入力文字の決定		
保留 クリア	入力文字の消去 変換のキャンセル	入力文字の消去		
保留 クリア (長押し)	入力文字の全消去			

文字入力方法

入力画面で入力モードを選択し、ダイヤルキーを押して文字を入力します。

例：(3) を繰り返し押すと

■ 漢字モードの場合

1回目 2回目 3回目 4回目 5回目
さ → し → す → せ → そ

■ カタカナモードの場合

1回目 2回目 3回目 4回目 5回目
サ → シ → ス → セ → ソ

■ 英字モードの場合

1回目 2回目 3回目 4回目 5回目 6回目
d → e → f → D → E → F

■ 数字モードの場合

※数字モードの場合は、押した回数分同じ数字が入力されます。

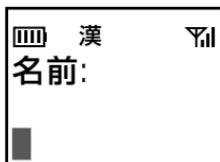
1回目 2回目 3回目 4回目
3 → 33 → 333 → 3333

ひらがなを入力するには (漢)

漢字モードから入力します。

例：はなこ

- 1 入力画面で (F3) を繰り返し押し、漢字モード (漢) にする



- 2 次のようにキーを押す

押すキー	画面表示
(6) は MNO × 1回	は
(5) な JKL × 1回	はな
(2) か ABC × 5回	はなこ
(F) 決定 × 1回	はなこ

全角カタカナを入力するには（漢、か）

■ 漢字モードから入力する場合

ひらがなを入力し、全角カタカナに変換します。

例：ハナコ

■ カタカナモードから入力する場合

半角カタカナを1文字入力し、1文字ごとに全角カタカナに変換します。

例：ハナコ

1 入力画面で **(F3)** を繰り返し押し、漢字モード（漢）にする

2 次のようにキーを押す

押すキー	画面表示
6 <small>は MING</small> × 1 回	は
5 <small>な JKL</small> × 1 回	はな
2 <small>か ABC</small> × 5 回	はなこ
▲ を押す	ハナコ
F <small>決定</small> を押す	ハナコ

1 入力画面で **(F3)** を繰り返し押し、カタカナモード（か）にする

2 次のようにキーを押す

押すキー	画面表示
6 <small>は MING</small> × 1 回	ハ
▲ を押す	ハ
5 <small>な JKL</small> × 1 回	ハナ
▲ を押す	ハナ
2 <small>か ABC</small> × 5 回	ハナコ
▲ を押す	ハナコ

半角カタカナを入力するには（か）

カタカナモードから入力します。

例：ハナコ

英字を入力するには（英）

英字モードから入力します。

例：Dog

1 入力画面で **(F3)** を繰り返し押し、カタカナモード（か）にする

2 次のようにキーを押す

押すキー	画面表示
6 <small>は MING</small> × 1 回	ハ
5 <small>な JKL</small> × 1 回	ハナ
2 <small>か ABC</small> × 5 回	ハナコ

1 入力画面で **(F3)** を繰り返し押し、英字モード（英）にする

2 次のようにキーを押す

押すキー	画面表示
3 <small>さ DEF</small> × 4 回	D
6 <small>は MING</small> × 3 回	Do
4 <small>た GHI</small> × 1 回	Dog

(次ページに続く)

文字入力について

数字を入力するには (数)

数字モードから入力します。

例：1234

1 入力画面で (F3) を繰り返し押し、数字モード (数) にする

2 次のようにキーを押す

押すキー	画面表示
(1 あ) × 1 回	1
(2 か ABC) × 1 回	12
(3 さ DEF) × 1 回	123
(4 た GHI) × 1 回	1234

濁点 (・)、半濁点 (゜) の文字を入力するには (漢) (か)

濁点を付ける文字を入力後 (＊Om) を1回押します。同様に、漢字モードやカタカナモードで、半濁点を付ける文字を入力後、(＊Om) を2回押します。

例：でんば

1 入力画面で (F3) を繰り返し押し、漢字モード (漢) にする

2 次のようにキーを押す

押すキー	画面表示
(4 た GHI) × 4 回	て
(＊Om) × 1 回	で
(0 れん) × 3 回	でん
(6 は MNO) × 1 回	でんは
(＊Om) × 2 回	でんば

漢字を入力するには (漢)

漢字モードでひらがなを入力し、▲▼を押しして候補の漢字を表示させ漢字に変換します。

例：花子

1 入力画面で (F3) を繰り返し押し、漢字モード (漢) にする

2 次のようにキーを押す

押すキー	画面表示
(6 は MNO) × 1 回	は
(5 な GHI) × 1 回	はな
(2 か ABC) × 5 回	はなこ
▼を押す	花子
(F 決定) × 1 回	花子

続けて同じキーに割り当てられた文字を入力するには (漢) (か) (英)

▶を押し、カーソル位置を隣に移動してから2文字目を入力します。

例：かかし

1 入力画面で (F3) を繰り返し押し、漢字モード (漢) にする

2 次のようにキーを押す

押すキー	画面表示
(2 か ABC) × 1 回	か
▶を押す	か
(2 か ABC) × 1 回	かか
(3 さ DEF) × 2 回	かかし

改行するには (漢) (加) (英)

漢字モード、カタカナモード、英字モードの各モードで、改行する位置で **(#マナ)** を押します。

例：ありがとう
ございます

- 1 入力画面で **(F3)** を繰り返し押し、漢字モード (漢) にする

- 2 「ありがとう」を入力して、**(F決定)** を押す

ありがとう

↓ **(F決定)** を押す
ありがとう

- 3 **(#マナ)** を押した後、「ございます」を入力する

ありがとう

↓
ありがとう
ございます

- 4 **(F決定)** を押す
ありがとう
ございます

連文節変換するには (漢)

漢字モードで複数の文節 (半角 24 文字まで) を入力し、▲または▼を押して複数文節を一度に変換します。

例：今日はいい天気です。

- 1 入力画面で **(F3)** を繰り返し押し、漢字モード (漢) にする

- 2 「きょうはいいてんきです。」を入力する

きょうはいい
てんきです。

- 3 ▲または▼を押す

連文節変換され、1 つめの文節 (「今日は」の部分) が再変換対象の文節になります。

今日はいい天
気です。

- 4 **(F決定)** を押す

1 つめの文節が確定され、再変換対象が次文節 (「いい」の部分) に移動します。

今日はいい天
気です。

- 5 ▲▼を繰り返し押し、候補を表示する

希望する文字の候補が表示された時点で **(6)** に進みます。

今日はいい天
気です。

↓ ▼を押す

今日は言いい天
気です。

↓ ▼を押す

今日は良いい天
気です。

▼を押すたびに、候補が表示されます。

- 6 **(F決定)** を押す

2 つめの文節が確定され、再変換対象が次文節 (「天気です」の部分) に移動します。

今日はいい天
気です。

- 7 **(F決定)** を押す

3 つめの文節が確定され、変換対象が次文節 (「。」の部分) に移動します。

今日はいい天
気です。

- 8 **(F決定)** を押す

今日はいい天
気です。

電話帳を登録する

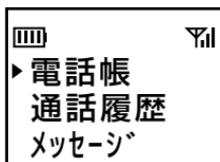
よくかける相手の名前と電話番号を電話帳に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。電話帳には最大 300 件の相手の名前または最大 300 個の電話番号が登録できます。1 つの名前には、3 つまでの電話番号を登録することができます。

また、名前や電話番号を登録するときにグループを選択することで、10 のグループに分類することができます。

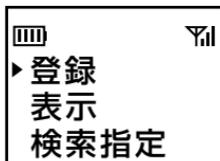
名前と電話番号を登録する

1 待受画面で  を押す

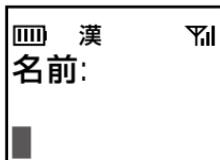
メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「電話帳」を選択し、 を押す

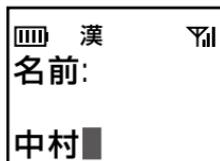
電話帳メニューが表示されます。

3 ▲▼で「登録」を選択し、 を押す

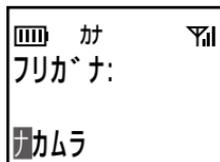
名前の入力画面が表示されます。

4 名前を入力し、 を押す

全角 6 文字まで入力できます。文字の入力については「文字入力について」(→ P.36) を参照してください。

5 フリガナを確認し、 を押す

入力した名前のフリガナが表示されます。必要に応じて修正してください。半角 12 文字まで入力できます。



(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 相手の名前または電話番号がすでに 300 件 (個) 登録されている場合は、「これ以上登録できません」と表示されます。
- 電話番号の登録件数が 300 個に達するまで登録することができます。
- 電話帳禁止(→P.95)が設定されている場合は、メインメニューで「電話帳」を選択し、 を押すと、「電話帳規制中」と表示され、電話帳の登録はできません。

6 「電話番号 1」を入力する

最大 24 桁まで入力できます。

☰	☰
電話番号 1	
3456	

電話番号は、「電話番号 1」～「電話番号 3」の 3 か所を登録できます。

「電話番号 2」を入力するときは、▶を押すと、「電話番号 2」の入力画面が表示されます。「電話番号 3」も同様の方法で入力します。

◀▶で入力画面を切り替えることができます。

7 電話番号の入力が終わったら、 決定を押す

☰	☰
▶ G0 : 総務	
G1 : 営業	
G2 : 開発 1	

※ Gx : の右の文字列は、登録されている電話帳グループの名前です (→ P.45)。

8 ▲▼で、設定するグループを選択し、決定を押す

No.0 ~ 9 の 10 グループ (電話帳グループ) に登録できます。

☰	☰
メモリ NO.	
0	

9 メモリ No. (000 ~ 299) を入力し、決定を押す

No.000 ~ 299 の 300 件まで登録できます。

登録完了画面が表示されます。

☰	☰
登録しました	
登録 21件	
残り 279件	

※ メモリ No. を入力しないで決定を押すと、一番小さい空き番号が指定されます。

(次ページに続く)

ワンポイント

● メッセージ画面から電話帳に登録するには

受信メッセージメニューまたは送信メッセージメニューから電話帳に登録することができます。

(→ P.105、P.107)

● 1つ前の画面に戻るには

 を押します。

● 登録済みのメモリ No. に上書きするには

手順9で登録済みのメモリ No. を入力し、 を押すと、「置換えますか」というメッセージが表示されます。データを置き換える場合は、「はい」を選択し、

 を押します。

● 発信履歴や着信履歴から電話帳に登録するには

発信履歴または着信履歴の画面から、電話帳に登録することができます。

① 待受画面で▲または▼を押す

▲：発信履歴を表示する

▼：着信履歴を表示する

② ▲▼で登録する相手を選択し、 を押す

③ ▲▼で「電話帳」を選択し、 を押す

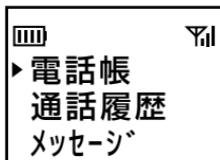
④ 「電話帳を登録する」の手順3～9の操作を行う

電話帳グループに名前をつける

電話帳グループには0～9の番号が付いています。電話帳グループに名前を付けることで、電話帳を管理しやすくなることができます。

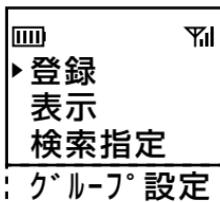
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



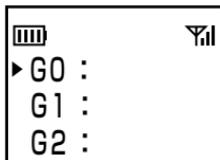
2 ▲▼で「電話帳」を選択し、 を押す

電話帳メニューが表示されます。



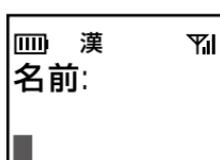
3 ▲▼で「グループ設定」を選択し、 を押す

グループ選択リストが表示されます。



4 ▲▼で名前を付けるグループ番号を選択し、 を押す

名前の入力画面が表示されます。



5 グループ名を入力し、 を押す

全角4文字（半角8文字）まで入力できます。

文字の入力については「文字入力について」(→P.36)を参照してください。

ここで何も入力せずに  を押すと、選択したグループ番号に設定されているグループ名が削除されます。

ワンポイント

- 電話帳の登録(→P.42)、表示(検索)(→P.47)、編集(→P.49)のときにグループ名を確認しながら選択することができます。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 電話帳転送(送信/受信)(→P.96)では、電話帳グループ名は転送されません。電話帳の送受信でグループ名は引き継がれないので、送信/受信してもグループ名は変更されません。

3

電話帳を使う

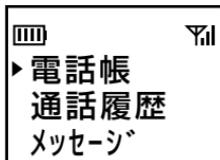
電話帳を表示する

電話帳に登録している内容は、名前の読みがな、グループ No.、メモリ No. のいずれかの方法で検索し、表示することができます。検索文字を省略するとメモリ No. 順で全件表示します。

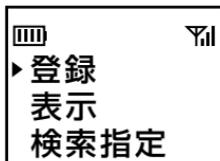
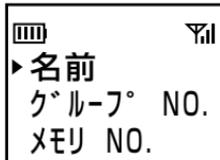
名前から検索する

1 待受画面で  を押す

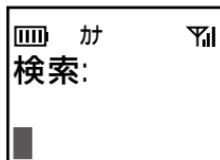
メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「電話帳」を選択し、 を押す

電話帳メニューが表示されます。

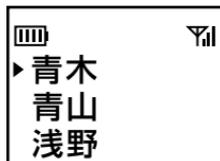
3 ▲▼で「表示」を選択し、 を押す4 ▲▼で「名前」を選択し、 を押す

名前の検索画面が表示されます。

5 名前の読みがなを入力し、 を押す

半角カタカナ（1～12文字まで）で入力します（→P.39）。

該当する名前が表示されます。

6 ▲▼で相手の名前を選択し、 を押す

電話帳データ（「電話番号1」）が表示されます。

「電話番号2」、「電話番号3」に登録されているデータを表示するには、 で切り替えます。



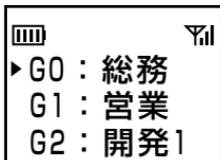
(((((((((お知らせ)))))))))

- 13桁以上の電話番号が登録されている場合は、手順6の後  キーを押すと、全体を表示することができます。電話番号は画面の下2段に表示されます。

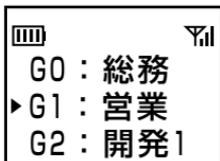
グループ No. から検索する

1 「名前から検索する」(→P.46)の手順 1～3 の操作を行う

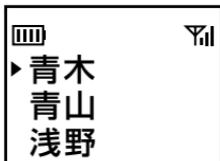
2 ▲▼で「グループ No.」を選択し、を押す



3 ▲▼で、検索するグループを選択し、を押す



そのグループに所属する名前が表示されます。



4 ▲▼で相手の名前を選択し、を押す

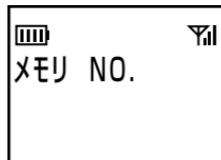
電話帳データ（「電話番号 1」）が表示されます。

「電話番号 2」、「電話番号 3」に登録されているデータを表示するには、◀▶で切り替えます。

メモリ No. から検索する

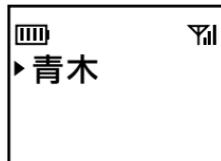
1 「名前から検索する」(→P.46)の手順 1～3 の操作を行う

2 ▲▼で「メモリ No.」を選択し、を押す



3 メモリ No. (000～299) を入力し、を押す

該当する名前が表示されます。



4 を押す

電話帳データ（「電話番号 1」）が表示されます。

「電話番号 2」、「電話番号 3」に登録されているデータを表示するには、◀▶で切り替えます。

(((((((((お知らせ)))))))))

- 13桁以上の電話番号が登録されている場合は、手順4の後  キーを押すと、全体を表示することができます。電話番号は画面の下2段に表示されます。

3

電話帳を使う

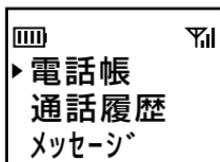
電話帳の検索方法を設定する

待受画面や通話中に ▶ を押すと、電話帳を名前、グループ No.、メモリ No. のどれで検索するかを選択するメニュー（表示検索メニュー）が表示されます。

同じ操作で直接、名前、グループ No.、メモリ No. の検索画面を表示するように設定することができます。これにより、電話帳からの発信や、電話帳の表示 / 編集などがご利用しやすくなります。

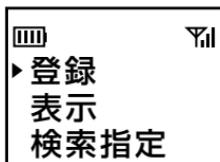
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



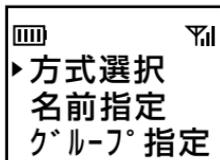
2 ▲▼で「電話帳」を選択し、 を押す

電話帳メニューが表示されます。



3 ▲▼で「検索指定」を選択し、 を押す

検索指定リストが表示されます。



4 ▲▼で項目を選択し、 を押す

待受画面や通話中に ▶ を押したときに表示される画面がそれぞれ以下のよう設定されます。

- 「方式選択」：表示検索メニュー画面
- 「名前指定」：名前検索画面
- 「グループ指定」：グループ検索画面
- 「メモリ指定」：メモリ No. 検索画面

電話帳を編集 / 削除する

検索した電話帳データの内容を編集したり、削除したりすることができます。

電話帳を編集する

1 電話帳データを表示させる
(→ P.46 ~ P.47)

☐	〒
No001 G1 1/2	
青木	
	4000

2  を押す

☐	〒
電話帳	
▶ 変更	
削除	

3 ▲▼で「変更」を選択し、 を押す

☐	漢	〒
名前:		
山田		

4 名前を修正し、 を押す

全角6文字まで入力できます(→P.40)。
修正が必要ないときは、そのまま
 を押します。

☐	か	〒
フリガナ:		
ヤマダ		

5 フリガナを修正し、 を押す

半角12文字まで入力できます(→P.39)。
修正が必要ないときは、そのまま
 を押します。

☐	〒
電話番号1	
	3456

6 電話番号を修正し、 を押す

修正が必要ないときは、そのまま
 を押します。

「電話番号2」、「電話番号3」に登録されているデータを修正するには、
◀▶で切り替えます。

7 ▲▼で、設定するグループを選択し、 を押す

修正が必要ないときは、そのまま
 を押します。
電話帳データが登録されます。

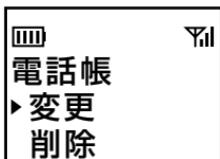
☐	〒
登録しました	

電話帳を削除する

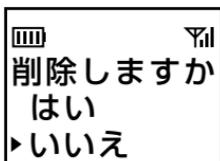
- 1** 電話帳データを表示させる
(→ P.46 ~ P.47)



- 2**  を押す

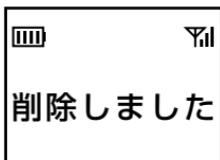


- 3** ▲▼で「削除」を選択し、 を押す



- 4** ▲▼で「はい」を選択し、 を押す

電話帳データが削除されます。



(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 電話帳禁止(→ P.95)が設定されている場合は、メインメニューで「電話帳」を選択し、 を押すと、「電話帳規制中」と表示され、電話帳の削除はできません。

電話帳を全削除する

1 電話帳データを表示させる (→ P.46 ~ P.47)



2 を押す

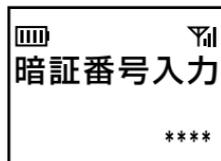


3 ▲▼で「全削除」を選択し、 を押す

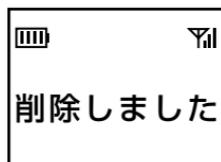
暗証番号入力画面が表示されます。

4 暗証番号 (4桁) を入力する

暗証番号(→ P.92)を入力すると、すべての電話帳データが削除されます。



電話帳の全削除完了画面が表示されます。



(((((((((お知らせ)))))))))

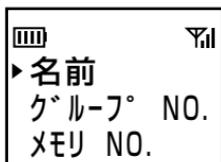
- 正しい暗証番号を入力しないと、電話帳を全削除することはできません。お買い求め時の暗証番号は「0000」に設定されています (→ P.92)。

電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録している相手には、簡単な操作で電話をかけることができます。

1 待受画面で▶を押す

電話帳の表示検索メニューが表示されます。



2 各検索方法に従い検索する

■名前から検索するには

⇒「名前から検索する」(→P.46)の手順4以降の操作を行います。

■グループ No. から検索するには

⇒「グループ No. から検索する」(→P.47)の手順2以降の操作を行います。

■メモリ No. から検索するには

⇒「メモリ No. から検索する」(→P.47)の手順2以降の操作を行います。

3 を押す

4 相手の方が出たらお話しする

ワンポイント

- 待受画面で▶を押したとき、表示検索メニューを表示しないで、名前、グループ No.、メモリ No. の各検索画面を表示することができます。設定方法については、「電話帳の検索方法を設定する」(→P.48)を参照してください。
- 電話帳のデータが無い場合は、待受画面で▶を押すと、「データがありません」と表示したあと、「名前から検索する」(→P.46)の手順2(電話帳メニュー)が表示されます。

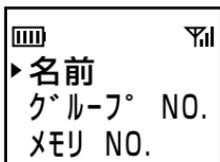
(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 電話帳禁止(→P.95)が設定されている場合は、待受画面で▶を押すと、「電話帳規制中」と表示され、電話帳は使えません。

通話中に電話帳検索する

1 通話中に▶を押す

電話帳の表示検索メニューが表示されます。



2 各検索方法に従い検索する

■名前から検索するには

⇒「名前から検索する」(→P.46)の手順4以降の操作を行います。

■グループ No. から検索するには

⇒「グループ No. から検索する」(→P.47)の手順2以降の操作を行います。

■メモリ No. から検索するには

⇒「メモリ No. から検索する」(→P.47)の手順2以降の操作を行います。

通話中に電話帳検索し転送する

1 通話中に を押す

通話が保留されます。

2 ▶を押す

電話帳の表示検索メニューが表示されます。



3 各検索方法に従い検索する

■名前から検索するには

⇒「名前から検索する」(→P.46)の手順4以降の操作を行います。

■グループ No. から検索するには

⇒「グループ No. から検索する」(→P.47)の手順2以降の操作を行います。

■メモリ No. から検索するには

⇒「メモリ No. から検索する」(→P.47)の手順2以降の操作を行います。

4 を押す

5 相手の方が出たら、電話を転送することをお伝えして、通話を切る

4

便利な使い方

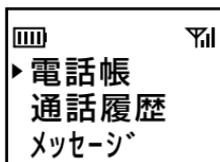
ファンクションキーを利用する

ファンクションキー（**F1**～**F3**）によくかける相手を登録しておくと、ワンタッチで電話をかけることができます。お買い求め時は、どのファンクションキーにも電話番号は登録されていません。

ファンクションキーに登録する

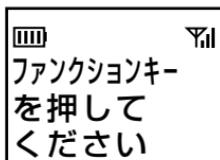
1 待受画面で **F決定** を押す

メインメニューが表示されます。



2 ▲▼で「F設定」を選択し、**F決定** を押す

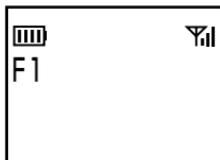
ファンクションキー設定画面が表示されます。



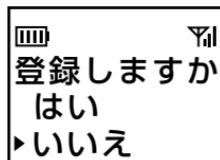
3 登録したいファンクションキー（**F1**～**F3**）を押し、**F決定** を押す

すでに電話番号が登録されている場合は、その電話番号が表示されます。

新しく電話番号を登録すると、以前に登録した電話番号に上書きされます。

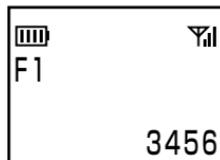


4 ▲▼で「はい」を選択し、**F決定** を押す



5 電話番号を入力し、**F決定** を押す

電話番号は最大 24 桁まで入力できます。



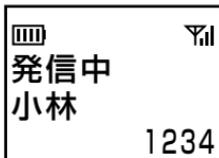
ファンクションキーに電話番号が登録されました。

ファンクションキーを使って電話をかける

電話番号を登録したファンクションキー（**F1**～**F3**）を押して、ワンタッチで電話をかけることができます。

1 待受画面でファンクションキー（**F1**～**F3**）を押す

登録された電話番号に発信されます。



2 相手の方が出たらお話しする

ワンポイント

- ファンクションキー（**F1**～**F3**）に登録された内容は、メモリリセットや機能リセットでは、消去されません。消去の場合は、登録の画面で空き（番号無し）を登録します。

(((((((((((**お知らせ**))))))))))

- 電話番号を登録していないファンクションキーを押すと、ビジー音が聞こえたあと、待受画面に戻ります。

ワンポイント

- 登録する電話番号にポーズ（「P」）を入力するには
ファンクションキーに登録する電話番号にはポーズを入力することもできます。ポーズを入力するには（**F1**）を押します。
例：「12345P6789」のように、ポーズを入れるには、ファンクションキー選択後の電話番号登録画面で「12345（**F1**）6789」と入力します（画面には「12345P6789」と表示されます）。
登録されたファンクションキーを押すと、「12345」の電話番号へダイヤルされ、画面は「P6789」の表示で止まります。音声メッセージなどで次のダイヤル要求を聞いた後、（）を押すことにより「6789」のダイヤルが継続されます。
- 登録する電話番号に保留（「H」）を入力するには
ファンクションキーに登録する電話番号の先頭に「保留」を入力して、かかってきた電話を保留転送する機能を登録することができます。「保留」を入力するには、（**F2**）を押します。「保留」は電話番号の先頭にしか入力できません。
例：「12345」へ保留転送する機能を登録するには、電話番号登録画面で「（**F2**）12345」と入力します（画面には「H12345」と表示されます）。
※ お使いになっている交換機の設定により、操作が異なる場合もあります。

音量を調節する

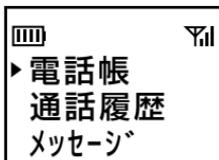
電話がかかってきたときの着信音の音量や、お話し中の相手の方の声の大きさを調節することができます。お買い求め時は、「音量3」に設定されています。

着信音量を調節する

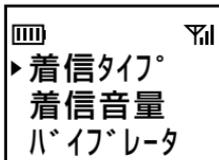
着信音量は5段階に調節できます。着信音を鳴らさないようにするときには、「OFF」（サイレントモード）を選択します。

1 待受画面で  を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、
 を押す

着信音設定メニューが表示されます。

3 ▲▼で「着信音量」を選択し、
 を押す

着信タイプで設定された音を着信音量に従って鳴らします。

4 ▲▼で着信音量を調節する

▲：音が大きくなる

▼：音が小さくなる



最大に設定したとき



サイレントモードに設定したとき

着信タイプで設定された音を着信音量に従って鳴らします。

5  を押す

着信音設定メニューに戻ります。

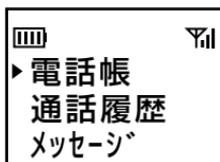
ワンポイント

- 着信音量を「OFF」に設定するとサイレントモードになり、待受画面に  と表示されます。着信音量を大きくすると、サイレントモードが解除されます。

受話音量を調節する

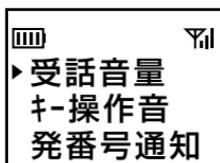
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。

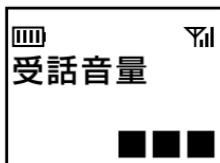


2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「受話音量」を選択し、 を押す

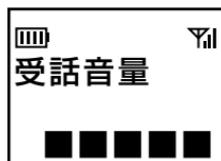


4 ▲▼で受話音量を調節する

受話音量は5段階に調節できます。

▲：音が大きくなる

▼：音が小さくなる



最大に設定したとき



最小に設定したとき

5 を押す

サービスメニューに戻ります。

4
便利な使い方

ワンポイント

- 相手の声が聞き取りにくいとき
通話中でも▲▼で受話音量を調節することができます。
切断時は待ち受け時に設定した受話音量設定に戻ります。

4

便利な使い方

マナーモードを設定 / 解除する

周囲の迷惑にならないように、マナーモードに設定することができます。マナーモードの設定中に電話がかかってきたり、メッセージを受信したときは、着信音を鳴らさずにバイブレーションでお知らせします。

1 待受画面で **#マナー** を長押し (約 2 秒以上) する

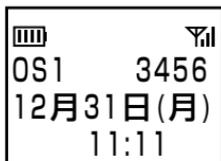
約 1 秒間、電話機が振動します。

マナーモード設定中はアイコンが表示されます。



2 マナーモードを解除するとき は、待受画面で **#マナー** を長押し (約 2 秒以上) する

マナーモードが解除され、アイコンが消えます。



ワンポイント

- サイレントモード (着信音量設定) (→P.56)、バイブレータ設定 (→P.68) を個別に実施した場合は、マナーモードを解除しても、個別の設定が有効になり、S または V アイコンの表示が残ります。

■ 各モードを設定したときの動作

モード	アイコン表示	着信音の有無	バイブレータの有無
サイレントモード	S	なし	なし
バイブレータ設定	V	あり	あり
マナーモード	SV	なし	あり

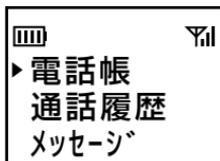
着信音を設定する（着信タイプ）

着信音はリング 01 ～ 19 の 19 種類の中から選択することができます。お買い求め時は、「リング 01」に設定されています。

なお、ここで設定できる着信音は、特定の着信種別（呼出信号 7）のときの着信音のみです。着信種別ごとに、好みの着信音を設定したい場合は、「着信音を設定する（PHS 着信タイプ）」（→ P.60）を参照してください。

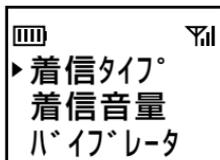
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



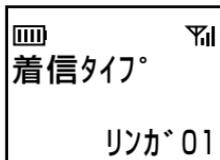
2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、 を押す

着信音設定メニューが表示されます。



3 ▲▼で「着信タイプ」を選択し、 を押す

着信タイプの設定画面が表示されます。



4 ▲▼で着信音を選択し、 を押す

着信タイプを選択すると、その着信音が鳴ります。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- お使いになっている交換機の設定によっては電話機で設定した着信タイプの音が鳴らない場合があります。交換機の設定についてはお買い求めの販売店へお問い合わせください。

着信音を設定する (PHS 着信タイプ)

「PHS 優先設定」(PHS 着信タイプ)を「有効」にすると、着信種別ごとに自動的に決まっていた着信音を好みの音に変更することができます (PHS 優先着信音)。

また、この着信音を設定するときの着信種別の選択には、以下の2つの方法があり、切り替えて使用することができます (→P.61)。

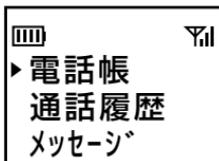
- ・呼出信号 (0～6) で選択する方法 (→P.62) (お買い求め時の設定)
- ・着信回線の種別 (内線 / 外線 / 専用線) で選択する方法 (→P.63)

なお、「着信音を設定する(着信タイプ)」(→P.59)で設定できる着信音は、特定の着信種別(呼出信号7)のときの着信音のみです。「PHS 着信タイプ」は、「着信タイプ」で変更できないような着信種別でご利用いただけます。

PHS 優先設定を有効にする

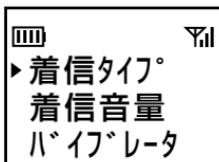
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



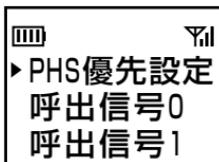
2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、 を押す

着信音設定メニューが表示されます。



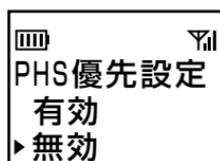
3 ▲▼で「PHS 着信タイプ」を選択し、 を押す

PHS 着信タイプ設定メニューが表示されます (以下は呼出信号の場合の画面)。



4 ▲▼で「PHS 優先設定」を選択し、 を押す

PHS 優先設定の画面が表示されます。



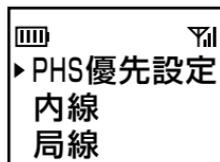
5 ▲▼で「有効」を選択し、 を押す

「有効」：PHS 優先設定を有効にする

「無効」：PHS 優先設定を無効にする

ワンポイント

- 着信種別の選択方法を、着信回線の種別で選択する方法に切り替えている(→P.61)場合は、手順3で、以下の画面が表示されます。



※この画面では外線は「局線」と表示されます。

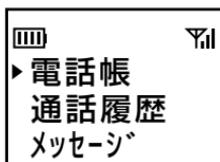
着信種別の選択方法を切り替える

PHS 優先着信音を設定するときの着信種別の選択方法(以下の2つ)を切り替えるには、「機能切替」を選択します。「機能切替」を選択するたびに、表示される着信種別の選択項目が切り替わります。

- ・呼出信号(0～6)で選択する方法(お買い求め時の設定)(→P.62)
- ・着信回線の種別(内線/外線/専用線)で選択する方法(→P.63)

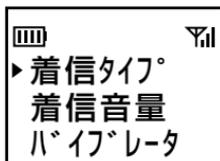
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



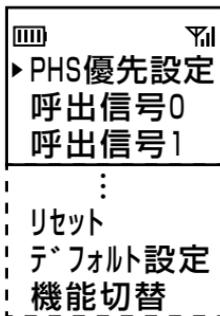
2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、 を押す

着信音設定メニューが表示されます。



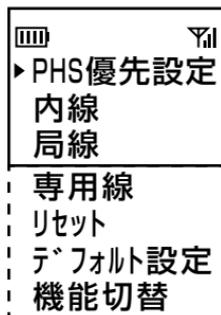
3 ▲▼で「PHS 着信タイプ」を選択し、 を押す

PHS 着信タイプ設定メニューが表示されます(以下は呼出信号の場合の画面)。



4 ▲▼で「機能切替」を選択し、 を押す

着信回線の種別の選択項目に切り替わった状態のPHS着信タイプメニューが表示されます。



※この画面では外線は「局線」と表示されます。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 「PHS 優先設定」「リセット」「デフォルト設定」のメニュー項目および設定内容は、「機能切替」で着信種別の選択方法を切り替えても共有されます。
- 交換機の設定により、呼出信号0～6と内線/外線/専用線で同じ着信種別として扱われているものがあると、その2つの着信音の設定は同じになります。たとえば、「内線」と「呼出信号1」が同じ扱いの場合は、「内線」の着信音を変更しなくても「呼出信号1」の着信音の変更で「内線」も変更されます。交換機の設定については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

4

便利な使い方

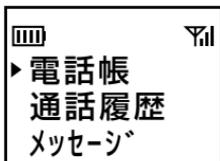
着信音を設定する (PHS 着信タイプ)

PHS 優先着信音を呼出信号ごとに設定する

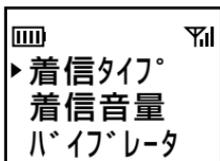
PHS 優先着信音を設定するときの着信種別の選択方法を、呼出信号で選択する方法に切り替えている場合は、交換機からの呼出信号 (0 ~ 6) ごとに、電話機で鳴る着信音 (PHS 優先着信音) を「リンガ 01」～「リンガ 19」の中から選択できます。お買い求め時は、「デフォルト選択」(初期値「リンガ 01」) に設定されています。

1 待受画面で  を押す

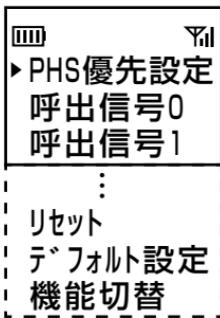
メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、 を押す

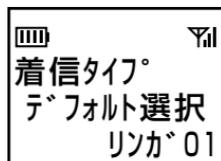
着信音設定メニューが表示されます。

3 ▲▼で「PHS 着信タイプ」を選択し、 を押す

PHS 着信タイプ設定メニューが表示されます。

4 ▲▼で「呼出信号 0」～「呼出信号 6」を選択し、 を押す

PHS 優先着信音の着信タイプの設定画面が表示されます。

5 ▲▼で着信音を選択し、 を押す

着信タイプを選択すると、その着信音が鳴ります。

ワンポイント

- 手順 5 で、「デフォルト選択」が表示されているときに  を押すと、「デフォルト設定」で選択されている着信音が設定されます。「デフォルト設定」(→手順 3 の画面) の着信音を変更すると、連動して「デフォルト選択」の着信音も変わります。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

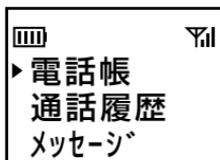
- 呼出信号 (0 ~ 6) がどのような着信種別に割り当てられているかについては、お使いになっている交換機の設定により異なります。お買い求めの販売店へお問い合わせください。

PHS 優先着信音を着信回線の種別ごとに設定する

PHS 優先着信音を設定するときの着信種別の選択方法を、着信回線の種別で選択する方法に切り替えている場合は、着信回線の種別（内線 / 外線 / 専用線）ごとに、電話機で鳴る着信音を「リング 01」～「リング 19」の中から選択できます。お買い求め時は、「デフォルト選択」（初期値「リング 01」）に設定されています。

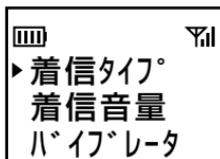
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



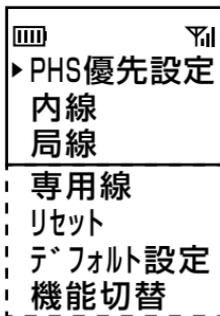
2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、 を押す

着信音設定メニューが表示されます。



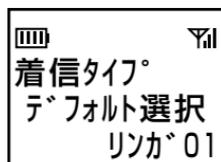
3 ▲▼で「PHS 着信タイプ」を選択し、 を押す

PHS 着信タイプ設定メニューが表示されます（外線は「局線」と表示されます）。



4 ▲▼で「内線」「局線」「専用線」のいずれかを選択し、 を押す

PHS 優先着信音の着信タイプの設定画面が表示されます。



5 ▲▼で着信音を選択し、 を押す

着信タイプを選択すると、その着信音が鳴ります。

ワンポイント

- 手順 5 で、「デフォルト選択」が表示されているときに  を押すと、「デフォルト設定」で選択されている着信音が設定されます。「デフォルト設定」（→手順 3 の画面）の着信音を変更すると、連動して「デフォルト選択」の着信音も変わります。

(((((((((お知らせ)))))))))

- お使いになっている交換機の設定によっては、電話機で設定したとおりの音が鳴らない場合があります。交換機の設定については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

着信音を設定する（PHS 着信タイプ）

PHS 優先着信音をリセットする

PHS 優先着信音の着信タイプを初期化して、お買い求め時の設定に戻すことができます。
お買い求め時の状態：

PHS 優先着信音のデフォルト設定 : 「リング 01」

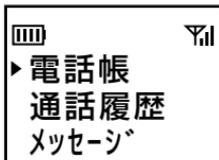
PHS 優先着信音の着信タイプ : 「デフォルト選択」

※すべての着信種別（呼出信号 0～6、および内線 / 外線（局線） / 専用線）の音が「デフォルト選択」（リング 01）に戻ります。

※ PHS 優先設定の「有効」 / 「無効」の設定は初期化されません。

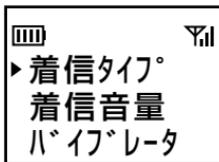
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



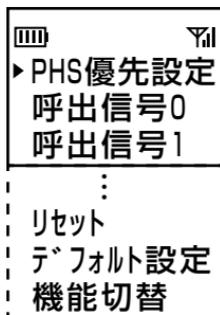
2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、 を押す

着信音設定メニューが表示されます。



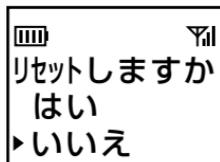
3 ▲▼で「PHS 着信タイプ」を選択し、 を押す

PHS 着信タイプ設定メニューが表示されます（以下は呼出信号の場合の画面）。



4 ▲▼で「リセット」を選択し、 を押す

リセット設定画面が表示されます。



5 ▲▼で「はい」を選択し、 を押す

PHS 優先着信音のデフォルト設定は「リング 01」、すべての着信種別の着信タイプは「デフォルト選択」に戻ります。

かかってきた相手によって着信音を変更する (発G着信タイプ)

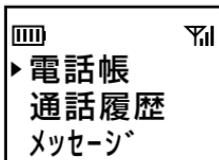
電話帳に登録されている相手（発信者）が所属する電話帳グループごとに、かかってきたときの着信音を設定することができます（発G着信音と呼びます）。

この着信音を「有効」に設定すると、他の着信タイプより優先して鳴ります。

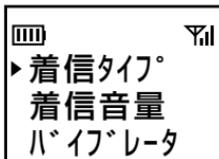
発G着信設定を有効にする

1 待受画面で  を押す

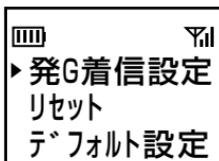
メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、 を押す

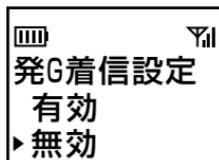
着信音設定メニューが表示されます。

3 ▲▼で「発G着信タイプ」を選択し、 を押す

発G着信タイプ設定メニューが表示されます。

4 ▲▼で「発G着信設定」を選択し、 を押す

発G着信設定の画面が表示されます。

5 ▲▼で「有効」を選択し、 を押す

「有効」：発G着信設定を有効にする

「無効」：発G着信設定を無効にする

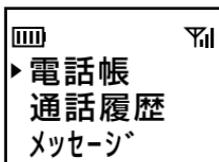
かかってきた相手によって着信音を変更する (発G着信タイプ)

発G着信音を選択する

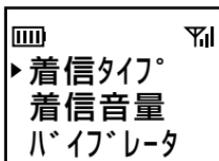
電話帳グループ0～9ごとに相手からかかってきたときの着信音を「指定無」、「リング01」～「リング19」の中から選択できます。お買い求め時は、「デフォルト選択」で「指定無」に設定されています。

1 待受画面で **F決定** を押す

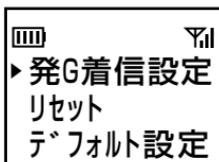
メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、**F決定** を押す

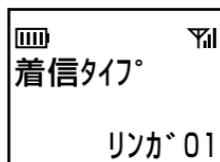
着信音設定メニューが表示されます。

3 ▲▼で「発G着信タイプ」を選択し、**F決定** を押す

発G着信タイプ設定メニューが表示されます。

4 ▲▼でグループ番号「GO:」～「G9:」を選択し、**F決定** を押す

発G着信音の着信タイプの設定画面が表示されます。

5 ▲▼で着信音を選択し、**F決定** を押す

着信タイプを選択すると、その着信音が鳴ります。

ワンポイント

- 手順5で、「デフォルト選択」が表示されているときに **F決定** を押すと、「デフォルト設定」で選択されている着信音が設定されます。「デフォルト設定」(→手順3の画面)の着信音を変更すると、連動して「デフォルト選択」の着信音も変わります。
- 「指定無」を選択することで各グループごとの着信音設定を無効にできます。

発G着信音をリセットする

発G着信音の着信タイプを初期化して、お買い求め時の設定に戻すことができます。

お買い求め時の状態：

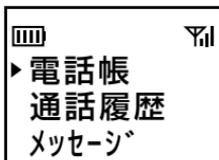
発G着信タイプのデフォルト設定：「指定無」

発G着信音の着信タイプ：「指定無」（電話帳グループ0～9すべて）

※発G着信設定の「有効」/「無効」の設定は初期化されません。

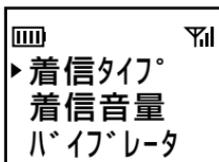
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



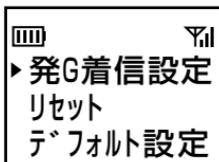
2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、 を押す

着信音設定メニューが表示されます。



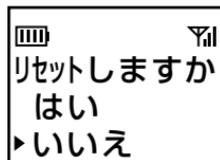
3 ▲▼で「発G着信タイプ」を選択し、 を押す

発G着信タイプ設定メニューが表示されます。



4 ▲▼で「リセット」を選択し、 を押す

リセット設定画面が表示されます。



5 ▲▼で「はい」を選択し、 を押す

発G着信音のデフォルト設定、およびすべての電話帳グループの着信タイプが「指定無」に戻ります。

4

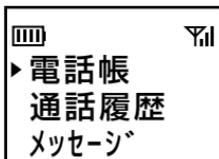
便利な使い方

バイブレータを設定する

電話がかかってきたときや、メッセージを受信したときにバイブレータでお知らせするように設定することができます。お買い求め時は、バイブレータが「オフ」に設定されています。

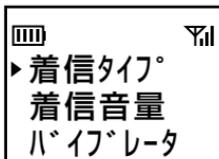
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



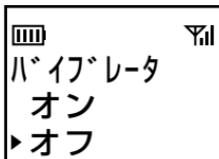
2 ▲▼で「着信音設定」を選択し、 を押す

着信音設定メニューが表示されます。



3 ▲▼で「バイブレータ」を選択し、 を押す

バイブレータの設定画面が表示されます。



4 ▲▼で「オン」を選択し、 を押す

「オン」：バイブレータを行う

「オフ」：バイブレータを行わない

ワンポイント

- バイブレータを設定すると待受画面に  と表示されます。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

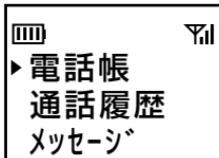
- 常時バイブレータを設定してご使用になる場合、着信の頻度が多いと、モーターの消耗により、バイブレータが動作しなくなることがあります。このようなご使用環境の場合は、着信音も併用することをお勧めします。

キー操作音量を調節する

デジタルコードレス電話機のキーを押したときに鳴る音の音量を調節することができます。鳴らさないようにすることもできます。お買い求め時は、「音量 3」に設定されています。

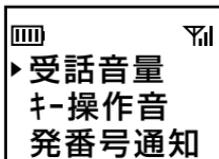
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



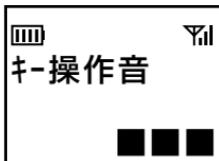
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「キー操作音」を選択し、 を押す

キー操作音の設定画面が表示されます。



4 ▲▼で音量を選択する

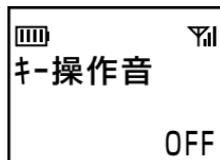
▲：音が大きくなる

▼：音が小さくなる

音を鳴らさないようにするには、「OFF」を選択します。



最大に設定したとき



鳴らさない設定にしたとき

5 を押す

サービスメニューに戻ります。

※  を押すことにより音量が設定されます。

4

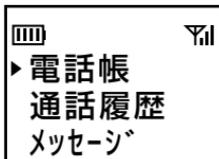
便利な使い方

発番号通知を設定する

電話をかけた相手にこちらの電話番号を通知するかどうかを設定することができます。お買い求め時は、「オン」に設定されています。

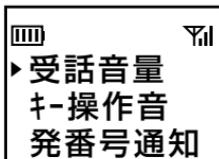
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



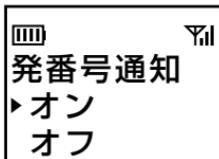
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「発番号通知」を選択し、 を押す

発番号通知の設定画面が表示されます。



4 ▲▼で「オン」を選択し、 を押す

「オン」：電話番号を通知する

「オフ」：電話番号を通知しない

(((((((((((お知らせ))))))))))))

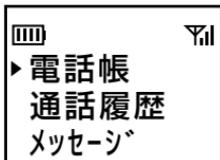
- お使いになっている交換機の機能・設定によっては、電話番号の通知ができない場合があります。交換機の機能・設定についてはお買い求めの販売店へお問い合わせください。

特別番号（特番）を付加する

特番とは、外線に電話をかける時などに、通常の電話番号の前にダイヤルする「0」などの番号です。特番と、電話帳、発信履歴または着信履歴の電話番号を、連続してダイヤルすることができます。お買い求め時は「オフ」に設定されています。

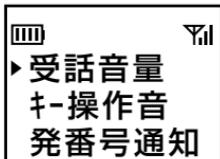
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



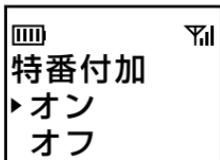
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「特番付加」を選択し、 を押す

特番付加の設定画面が表示されます。



4 ▲▼で「オン」を選択し、 を押す

「オン」：特番付加を設定する

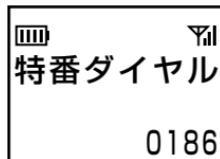
「オフ」：特番付加を解除する

5 電話帳、発信履歴または着信履歴から、相手の電話番号を検索する

相手の電話番号が表示されます。

6 付加する特番をダイヤルする

付加する特番は、相手の電話番号と合わせて最大 24 桁までダイヤルできます。



7 を押す

特番を付加した番号に発信します。

ワンポイント

- 付加した特番は、発信履歴に残りません。

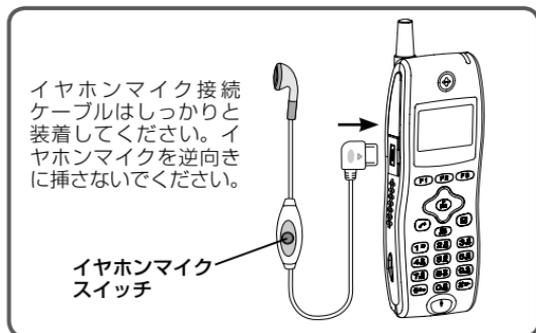
特番を付加してダイヤルした場合でも、特番付加されていない電話番号が発信履歴に残ります。

4

便利な使い方

イヤホンマイクを使う

市販のイヤホンマイク（平型プラグ）をイヤホンマイク端子に接続し、利用します。



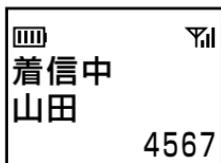
スイッチ付きイヤホンマイクを使用すると、イヤホンマイクスイッチを長押し（1秒以上）することで、かかってきた電話を受けたり、切ったりすることができます。

イヤホンマイクの装着の他に設定は必要ありません。

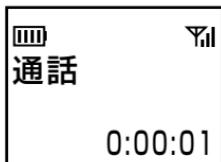
イヤホンマイクで電話を受ける

1 着信音が鳴る

相手の電話番号および名前（電話帳登録時）が表示されます。



2 イヤホンマイクスイッチを長押し（1秒以上）または、を押して電話に应答し、相手の方とお話する



3 お話が終わったら、イヤホンマイクスイッチを長押し（1秒以上）または、を押す

ワンポイント

- クイック通話機能も利用できます。イヤホンマイク装着中でも、かかってきた電話への応答には、クイック通話（充電台からの本機の取り上げ（→P.73））や  を利用できます。その場合でも、お話しの後、イヤホンマイクスイッチの長押しによって通話を終了できます。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- イヤホンマイク装着中でもキー操作時や着信時にスピーカから音が鳴ります（キー操作音や着信音がOFFのとき、またはマナーモードのときには、鳴りません）。本機は、モノラルのイヤホンマイクに対応しています。

クイック通話 / 切断を設定する

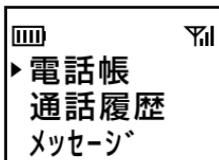
クイック通話 / 切断を設定をすると、充電台から本機を取り上げたり置いたりすることで、 /  を押さなくても電話に出たり、切ったりすることができます。

お買い求め時は、クイック通話 / 切断機能は「オフ」に設定されています。

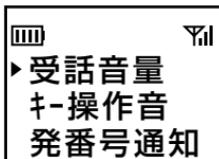
電話に出るときは、着信中に本機を充電台から取り上げます（「クイック通話」と呼びます）。
電話を切るときは、お話し後に本機を充電台に置きます（「クイック切断」と呼びます）。

1 待受画面で  を押す

メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。

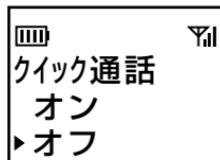
3 ▲▼で「クイック通話」を選択し、 を押す

クイック通話の設定画面が表示されます。

4 ▲▼で「オン」を選択し、 を押す

「オン」：クイック通話有効

「オフ」：クイック通話無効

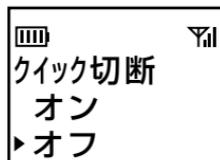


クイック切断の設定画面が表示されます。

5 ▲▼で「オン」を選択し、 を押す

「オン」：クイック切断有効

「オフ」：クイック切断無効



ワンポイント

- クイック通話は、着信中にのみ使用できます。着信中でないときに、本機を充電台から取り上げても、発信などはできません。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

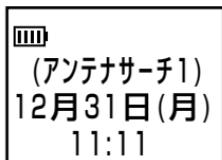
充電台から取り上げる / 置く操作は、本機の I/O ・充電コネクタから AC アダプタプラグを外す / 接続するのと同じです。

そのため、クイック切断が「オン」のとき、通話中に AC アダプタケーブルを接続すると電話が切れてしまいます。通話中に AC アダプタケーブルを使って充電したい場合は、クイック切断を「オフ」にしてください。

アンテナサーチを使う

待ち受け時に **電源** を長押し（2 秒以上）することで、アンテナ検索を行い、最も強い電波のアンテナに接続します。

圏外状態のときは、現行 OS（オフィスステーション）モードでアンテナを探した後、OS モードが複数登録されていれば、OS モードの昇順にアンテナを探し、待ち受け可能な OS モードに自動的に変更します。ただし、アンテナサーチによる OS モードの自動変更は、OS モード設定機能の自動切替（→ P.86）が「オン」のときに有効です。アンテナサーチ中は、アンテナアイコンの表示が数秒間消えます。



アンテナサーチ中
(OS1 モードを検索中)
の画面

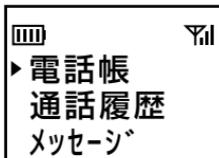
自内線番号の表示の有無を設定する

待受画面に自内線番号を表示するか表示しないかを選択できます。
自内線番号を画面に表示させたくない場合には、「非表示」を選択します。
お買い求め時は、「表示」に設定されています。

自内線番号を表示する

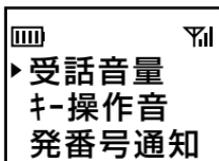
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



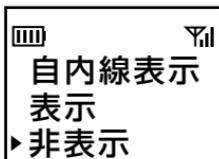
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「自内線表示」を選択し、 を押す

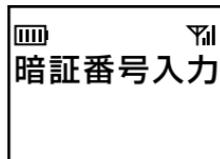
自内線番号の表示設定画面が表示されます。



4 ▲▼で「表示」を選択し、 を押す

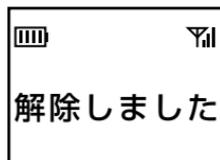
「表示」： 自内線番号を表示する
「非表示」： 自内線番号を表示しない

自内線番号の表示設定が「非表示」の状態から、「表示」を選択すると、暗証番号の入力画面が表示されます。



5 暗証番号（4桁）を入力する

正しい暗証番号(→P.92)を入力すると、自内線番号の非表示設定が解除されます。

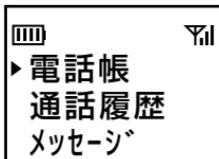


バックライトを設定する

ディスプレイのバックライトを点灯させるかどうかを設定したり、バックライトの点灯時間（10秒、20秒、30秒）を設定することができます。お買い求め時は、「10秒」に設定されています。

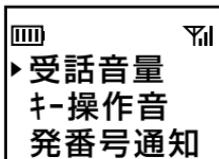
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「バックライト」を選択し、 を押す

バックライトの設定画面が表示されます。



4 ▲▼で項目を選択し、 を押す

バックライトの点灯時間は、「10秒」、「20秒」、「30秒」の中から選択できます。

バックライトを点灯させないときは、「OFF」を選択します。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

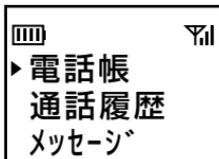
- バックライトを OFF に設定すると、着信時やキーを押したときにバックライトが点灯しなくなります。

コントラストを調整する

ディスプレイの濃度（コントラスト）を調整することができます。
お買い求め時は、「濃度 3」に設定されています。

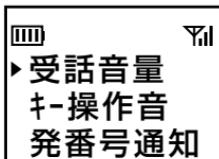
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「コントラスト」を選択し、 を押す

コントラストの設定画面が表示されます。



4 ▲▼でコントラストを調節する

コントラストは 5 段階に調節できます。

▲：画面の濃度が濃くなる

▼：画面の濃度が薄くなる



最大に設定したとき



最小に設定したとき

5 を押す

サービスメニューに戻ります。

4

便利な使い方

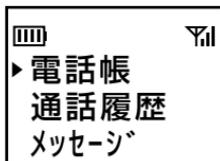
通話時間を調べる

直前の通話時間や、通話の積算時間の目安を調べることができます。

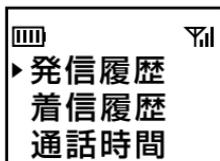
前回の通話時間を調べる

1 待受画面で  を押す

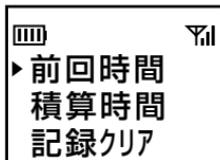
メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「通話履歴」を選択し、
 を押す

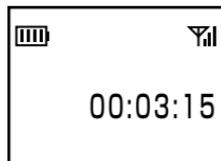
通話履歴メニューが表示されます。

3 ▲▼で「通話時間」を選択し、
 を押す

通話時間メニューが表示されます。

4 ▲▼で「前回時間」を選択し、
 を押す

直前の通話時間が表示されます。



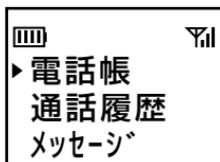
(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 通話時間が99:59:59を越えると00:00:00に戻ります。

通話の積算時間を調べる

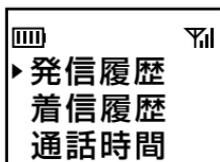
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



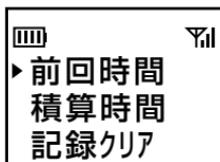
2 ▲▼で「通話履歴」を選択し、 を押す

通話履歴メニューが表示されます。



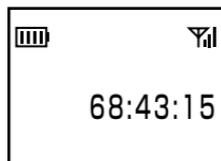
3 ▲▼で「通話時間」を選択し、 を押す

通話時間メニューが表示されます。



4 ▲▼で「積算時間」を選択し、 を押す

これまでの通話の積算時間が表示されます。



ワンポイント

- 前回時間と積算時間をクリアするには
通話時間メニューで「記録クリア」を選択し、 を押します。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 積算時間が99:59:59を越えると00:00:00に戻ります。

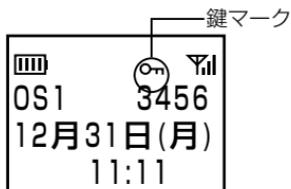
キーロックを設定 / 解除する

待ち受け中に誤って操作しないように、キー操作を無効にすることができます。キーロックを設定していても、電話に出たり、アラーム通知を止める(→P.99)ことはできます。

1 待受画面で 長押し(約2秒以上)する

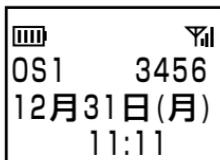
キーロックが設定されているとキーロック中は鍵マーク( または )が表示されます。

エニーキーアンサーの設定(→P.81)が「キーロック中オン」の場合、鍵マークとして  が表示されます。



2 キーロックを解除するときは、待受画面で を長押し(約2秒以上)する

キーロックが解除され、鍵マークが消えます。



ワンポイント

- キーロック中に電話には出るとは
キーロック中は  を押して、電話に出ることができます。電話を切ると、キーロックが設定された状態に戻ります。
- キーロック中にエニーキーアンサー機能を使うには
キーロック中は通常、エニーキーアンサー機能は無効となりますが、エニーキーアンサーの設定が「キーロック中オン」の場合は、キーロック中でもエニーキーアンサー機能が利用できます(→P.81)。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

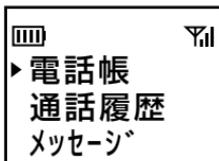
- キーロック中に電源を切ると、キーロックは解除されます。
- キーロック中でもバックライトを点灯させる設定をされている場合は、キーを押した時にバックライトが点灯します。

エニーキーアンサーを設定する

電話がかかってきたときに、以外のどのキーを押しても電話を受けられるように設定することができます。お買い求め時は、「オフ」に設定されています。

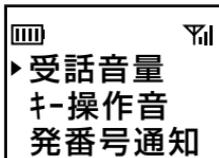
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



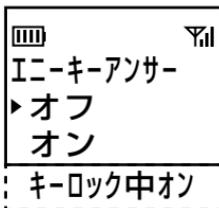
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「エニーキーアンサー」を選択し、 を押す

エニーキーアンサーの設定画面が表示されます。



4 ▲▼で「オン」を選択し、 を押す

「オフ」：エニーキーアンサーを解除する

「オン」：エニーキーアンサーを設定する

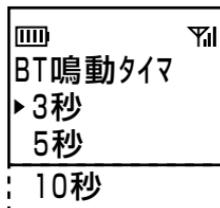
「キーロック中オン」：

キーロック中のエニーキーアンサーを設定する

「キーロック中オン」を選択した場合は、BT（ビジートーン）鳴動タイム選択画面が表示されます。

5 ▲▼でBT鳴動タイムの値を選択し、 を押す

BT鳴動タイムは、「3秒」、「5秒」、「10秒」の中から選択できます。



(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 通常、相手が電話を切った後、こちらの電話機では、BT（ビジートーン）が聞こえます（鳴動）。お使いの交換機にもよりますが、そのまま20秒待つか、いずれかのキーを押すとこちらの電話が切れて待受画面に戻ります。相手の電話が切れてから、こちらの電話が切れて待受画面に戻るまでの時間を「BT鳴動タイム」で設定できます。ただし、この設定は「キーロック中オン」のときのみ有効です。

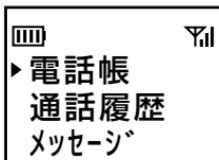
ダイヤルロックを設定 / 解除する

暗証番号を設定して、キーの操作を禁止することで、他人が電話をかけたりサービス機能を利用できないようにすることができます。

キーの操作の禁止を解除するには、何かキーを押した後、暗証番号を入力します。

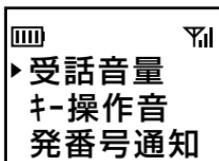
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



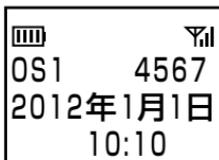
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「ダイヤルロック」を選択し、 を押す

ダイヤルロックが設定され、待受画面に戻ります。



4 ダイヤルロックを解除するとき は、任意のキーを押す

暗証番号入力画面が表示されます。

※ ◀を押した場合は、暗証番号入力画面は表示されません。

5 暗証番号（4桁）を入力する

正しい暗証番号(→P.92)を入力すると、ダイヤルロックが解除されます。

ワンポイント

● ダイヤルロック中に暗証番号無し でできる操作

- ・着信中の電話に出る
- ・通話中に通話音量を調節する
- ・通話中の電話を切る（終話）
- ・電源を切る（ を長押し）
- ・アラーム通知を止める（→P.99）

(((((((((((お知らせ))))))))))))

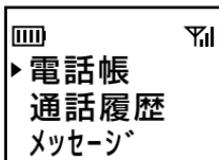
- 正しい暗証番号(→P.92)を入力しないと、ロックを解除できません。お買い求め時の暗証番号は「0000」に設定されています。
- ダイヤルロック中に電源を切っても、ダイヤルロックは解除されません。

オートロックを設定する

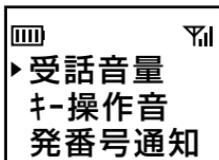
一定時間キー操作が無いときに、キー操作を禁止して、電話をかけたりサービス機能を利用できないようにすることができます。お買い求め時は、「オフ」に設定されています。キーの操作の禁止を一時的に解除するには、何かキーを押した後、暗証番号を入力します。

1 待受画面で  を押す

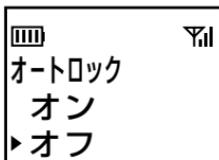
メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。

3 ▲▼で「オートロック」を選択し、 を押す

オートロックの設定画面が表示されません。

4 ▲▼で「オン」を選択し、 を押す

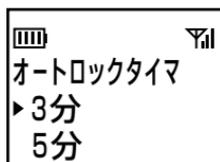
「オン」：オートロック有効

「オフ」：オートロック無効 / 解除

「オン」を選択した場合は、オートロックタイマ設定画面が表示されます。

5 ▲▼でオートロックタイマの値を選択し、 を押す

オートロックタイマは、「3分」、「5分」、「10分」の中から選択できます。



ここで選択した時間より長く連続して待受状態が続いたとき、自動的にダイヤルロックがかかります。

途中でキー操作が入ると、オートロックタイマはリセットされ再計測されます。

※ 設定を解除するには、ロックを一時的に解除して手順1から操作を行ってください。

ワンポイント

- オートロック中に暗証番号無しでできる操作
 - ・着信中の電話に出る
 - ・通話中に通話音量を調節する
 - ・通話中の電話を切る(終話)
 - ・電源を切る ( を長押し)
 - ・アラーム通知を止める (→ P.99)

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 本機の操作状態等により、オートロックタイマ満了までに1分程度遅れる場合があります。
- 正しい暗証番号(→ P.92)を入力しないと、ロックを一時的に解除できません。お買い求め時の暗証番号は「0000」に設定されています。
- オートロック中に電源を切っても、オートロックは解除されません。

4

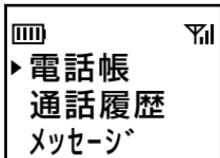
便利な使い方

弱電界アラームを設定する

通話中に電波が弱いときにレシーバから「ピー ピー」というアラームを鳴らすかどうかを設定することができます。お買い求め時は、「オン」に設定されています。

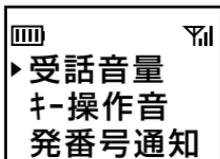
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



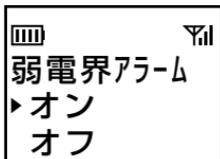
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「弱電界アラーム」を選択し、 を押す

弱電界アラームの設定画面が表示されます。



4 ▲▼で項目を選択し、 を押す

「オン」：アラームを設定する
「オフ」：アラームを解除する

(((((((((((お知らせ))))))))))))

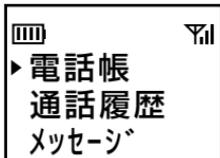
- 弱電界付近で、無線基地局の移動（切替え）に失敗した場合にも警告音が鳴ります。
弱電界アラームの「オン/オフ」で警告音の設定/解除を行うことができます。

低電圧アラームを設定する

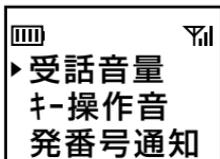
電池が少ないときにスピーカから「ブブブ」というアラームを鳴らすかどうかを設定することができます。お買い求め時は、「オン」に設定されています。

1 待受画面で  を押す

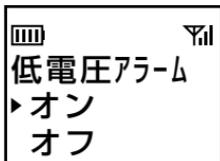
メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。

3 ▲▼で「低電圧アラーム」を選択し、 を押す

低電圧アラームの設定画面が表示されます。

4 ▲▼で項目を選択し、 を押す

「オン」：アラームを設定する
「オフ」：アラームを解除する

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 低電圧アラームが鳴った場合は、「充電してください」と表示されます。低電圧アラーム音は、低電圧状態では1分おきに鳴ります。いずれかのキーを押すとアラーム音は止まりますが、「充電してください」は再表示されます。待受画面に戻る時は、 または  を押します。
- 低電圧アラーム音が鳴った場合や「充電してください」表示が出た場合、または電池残量表示アイコンが空になっている場合は速やかに充電を行ってください。充電を行わず使用を続けた場合は、「ピー」という警告音が鳴り、電源が切れますので必ず充電を行ってから電源を入れてください。電池電圧が著しく低下している場合は充電中の表示となるまでに約5分程度かかる場合があります。

OS モードを設定する

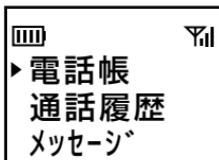
デジタルコードレス電話機を使用するシステム（OS：オフィスステーション）を設定することができます。お買い求め時は「OS1」（OSモードの自動切替は「オフ」）に設定されています。

OS モードを自動 / 手動で切り替える

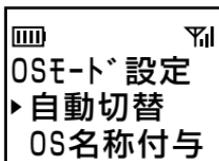
OS（オフィスステーション）モードの自動切替を設定することで、異なるデジタルコードレスシステムの間を移動したときに、使用可能な OS モードへ自動で切り替えることができます。OS モードの自動切替の設定でオフ（無効）を選択したときは、手動で OS モードを選択して切り替えることができます。OS モードは5つ用意されています。

1 待受画面で  を押す

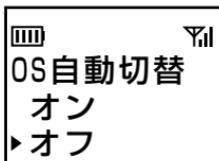
メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「OS モード設定」を選択し、 を押す

OS モード設定画面が表示されます。

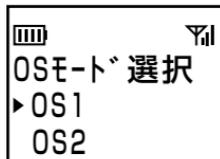
3 ▲▼で「自動切替」を選択し、 を押す

OS 自動切替の設定画面が表示されます。

4 ▲▼で項目を選択し、 を押す

「オン」：OSモードの自動切替をする
「オフ」：OSモードの自動切替をしない

自動切替「オフ」を選択した場合は、OSモードを手動で選択する画面が表示されます。

5 ▲▼で、OSモードを選択し、 を押す

選択した OS モードに切替わります。

ワンポイント

- OSモードの検索の順番は、現行設定モードを始点に昇順となります。たとえば OS2 を使用していた場合は、OS3 → OS4 → OS5 → OS1 の順に検索します。
- 圏外状態が長くなると省電力制御が行われ、次の OSモードの検索に5分程度がかかる場合があります。 を長押し（2秒以上）してアンテナ検索を行うと、すぐに検索されます（→P.74）。

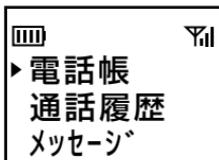
OS モードに名前を付ける

OS モードに名前を付けることができます。

OS1～5にそれぞれの名前を付けることで、待受画面などでOSモードの種別をわかりやすく表示することができます。付与できる名前は、半角文字4文字（全角2文字）までの名前です。

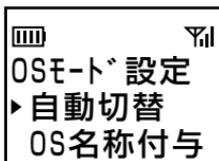
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



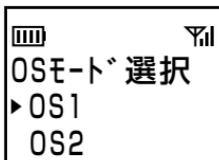
2 ▲▼で「OSモード設定」を選択し、 を押す

OSモード設定画面が表示されます。



3 ▲▼で「OS名称付与」を選択し、 を押す

OSモード選択画面が表示されます。



4 ▲▼で、名前を付けるOSモードを選択し、 を押す

OSモード名称付与画面が表示されます。



5 名前を入力し、 を押す

待受画面などで、OSモードが名前で表示されるようになります。

※ 文字入力については、「第3章」の「文字入力について」(→ P.36)を参照してください。

4

便利な使い方

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 名前以外のOS情報（基地局のID情報や内線番号など）は、保守者、システム管理者が設定します。

トランシーバーとして使用する

サービス用アンテナ（基地局）が設置されていない場所では、本機をトランシーバーのように使用することができます。トランシーバーとして使用すると、基地局を介さず、電話機同士で直接通話することができます。基地局からの電波が届かない場所で連絡したい場合などにお使いください。また、停電等でお使いになっている交換機の稼働が停止した場合などにも利用することができます。

また、通常のトランシーバーとは異なり、通話中は双方向で話をするすることができます。ただし、複数の相手と同時に話をすることはできません。

■ ご利用にあたって

トランシーバーとして使用する場合は、双方の電話機が同じ交換機に登録されている必要があります。交換機の設定についてはお買い求めの販売店へお問い合わせください。

トランシーバーとして使用する場合は、トランシーバー番号（TR 番号）をダイヤルして発信します（TR 番号は 1～4 桁の数字）。TR 番号は、内線番号が 1～7999 の範囲に入っている場合は内線番号と同じ番号になります。なお、OS モード（→P.86）を複数ご利用の場合は、最初の OS モード（通常は OS1）の内線番号と同じ番号になります。内線番号が 1～7999 の範囲に入っていない場合は、TR 番号として使用するための「子機間 ID」を設定する必要があります。「子機間 ID」の設定については、お買い求めの販売店にご相談ください。

トランシーバーとして使用するときは、トランシーバーモードに切り替えます（→P.89）。発信するときは、発信側と着信側の両方がトランシーバーモードに切り替えられている必要があります。

また、トランシーバーモード中は、通常の内線電話として使用することはできません。通常の内線電話として利用したい場合は、トランシーバーモードを終了（→P.89）してください。

トランシーバーモードで利用できる機能

日付と時刻の設定	P.27
音量を調整する	P.56
マナーモードの設定 / 解除	P.58
パイプレータ設定	P.68
キー操作音量調整	P.69
イヤホンマイクの利用	P.72
バックライト設定	P.76
コントラスト調整	P.77
ダイヤルロック設定 / 解除	P.82
オートロック設定	P.83
弱電界アラーム設定	P.84
低電圧アラーム設定	P.85
暗証番号変更	P.92
アラーム機能	P.98

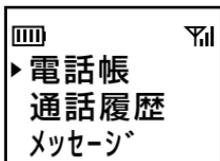
ワンポイント

- トランシーバーモードでは、本モードで利用できる機能のメニュー項目のみが表示されます。
- トランシーバーモードのときに各機能の設定を変更した場合、トランシーバーモードを終了しても、設定内容は引き継がれます。
- トランシーバーモードでは、電話帳、通話履歴、メールは使用できません。

トランシーバーモードに切り替える

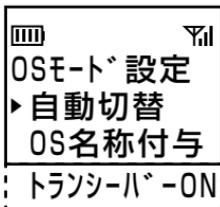
1 OSモードの待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



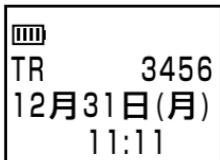
2 ▲▼で「OSモード設定」を選択し、 を押す

OSモード設定画面が表示されます。



3 ▲▼で「トランシーバー ON」を選択し、 を押す

トランシーバーモードに切り替わります。

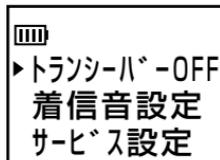


※ トランシーバーモードの待受画面では、アンテナアイコンは表示されません。

トランシーバーモードを終了する

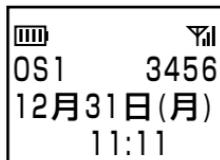
1 トランシーバーモードの待受画面で を押す

トランシーバーモードのメインメニューが表示されます。



2 ▲▼で「トランシーバー OFF」を選択し、 を押す

トランシーバーモードが終了し、トランシーバーモードに切り替える前のOSモードに戻ります。



(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 内線番号が1～7999の範囲に入っていないときに、トランシーバーモードに切り替えようとすると、トランシーバーモードに切り替えできません（「ご利用できません」と表示されます）。その場合は、別途、TR番号として「子機間ID」を設定する必要があります。お買い求めの販売店にご相談ください。

トランシーバーとして使用する

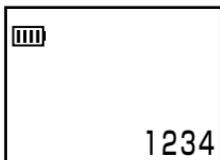
トランシーバーで呼び出す

トランシーバーモードで交信相手呼び出すときは、電話をかけるときと同じように相手のトランシーバー番号（TR 番号）をダイヤルします。

1 トランシーバーモードに切り替える（→ P.89）

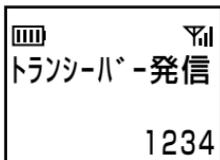
2 呼び出したい相手の TR 番号を押す

TR 番号が表示されます。



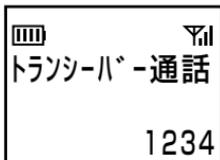
3  を押す

「トランシーバー発信」と表示されます。



4 相手の方が出たら、お話しする

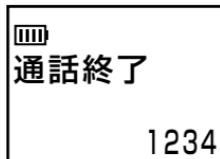
「トランシーバー通話」と表示されます。



※ トランシーバーモードでは、通話時間は表示されません。

5 お話しが終わったら、 を押す

相手が先に切断した場合は「通話終了」が表示され、ビジートーンが流れます。



※ 30 秒経つか、 を押すと待受画面に戻ります。

ワンポイント

- トランシーバーモードでは、電話帳や通話履歴は使用できません。あらかじめ、交信相手の TR 番号をお手元にご用意ください。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- トランシーバーとして使用するには、交信相手もトランシーバーモードに切り替えられている必要があります。また、交信相手が電波の届く範囲にいる必要があります。
- トランシーバーとして使用しているとき、3 分間続けて通話すると数秒間中断が入ります。中断している間は警告音が鳴りますが問題ありません。その後は通話が再開します。
- トランシーバーとして使用しているとき、通話相手との電波状態が悪くなると警告音が鳴ります。電波状態のよいところに移動すれば回復します。

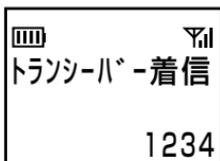
トランシーバーで応答する

トランシーバーモードで交信相手から呼び出されたときは、電話がかかってきたときと同じように、着信音が鳴り、充電・着信ランプが赤色で点滅します。また、交信相手のトランシーバー番号（TR 番号）が画面に表示されます。

1 トランシーバーモードに切り替えておく（→ P.89）

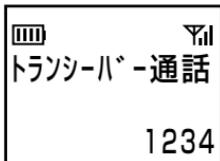
2 着信音が鳴る

「トランシーバー着信」と相手の TR 番号が表示されます。



3  を押し、相手の方とお話する

「トランシーバー通話」と表示されます。

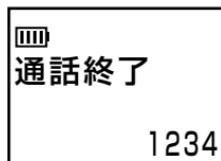


ワンポイント

- トランシーバーモードのときも、着信音量の調節（→ P.56）、マナーモード設定（→ P.58）、バイブレーション設定（→ P.68）が使用できます。着信音を変更することはできません。

4 お話が終わったら、 を押す

相手が先に切断した場合は「通話終了」が表示され、ビジートーンが流れます。



※ 30 秒経つか、 を押すと待受画面に戻ります。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- トランシーバーモードでは、発信中 / 通話中 / 着信中のときのみアンテナアイコンが表示されます。待受画面ではアンテナアイコンが表示されません。
- トランシーバーとして使用しているとき、3 分間続けて通話すると数秒間中断が入ります。中断している間は警告音が鳴りますが問題ありません。その後は通話が再開します。
- トランシーバーとして使用しているとき、通話相手との電波状態が悪くなると警告音が鳴ります。電波状態のよいところに移動すれば回復します。

4

便利な使い方

4

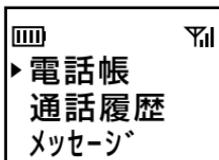
便利な使い方

暗証番号を設定する

暗証番号は、メモリに記憶されている内容や、設定した機能をリセットするときなどに必要になります。お買い求め時は、「0000」に設定されています。

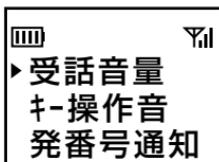
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



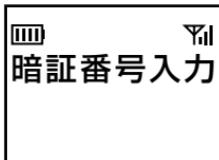
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「暗証番号」を選択し、 を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。



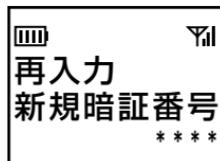
4 現在の暗証番号（4桁）を入力する

新規暗証番号の入力画面が表示されます。



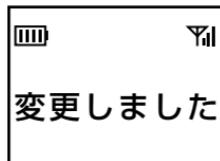
5 新しい暗証番号（4桁）を入力する

新規暗証番号の再入力画面が表示されます。



6 もう一度新しい暗証番号（4桁）を入力する

新しい暗証番号を正しく入力すると、暗証番号が変更されます。



(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 現在の暗証番号を忘れてしまうと暗証番号を変更することはできなくなります。忘れた場合はお買い求めの販売店にご相談ください。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

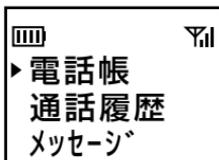
- 現在の暗証番号を正しく入力しないと、暗証番号を変更することはできません。

メモリをリセットする

電話帳に登録した内容、発信履歴と着信履歴の内容、送受信したメッセージを消去することができます (→P.114)。

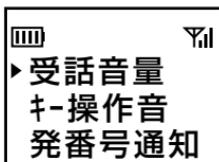
1 待受画面で **(F)** を押す

メインメニューが表示されます。



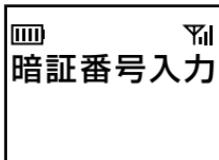
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、**(F)** を押す

サービスメニューが表示されます。



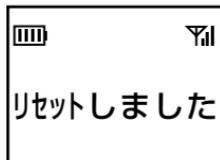
3 ▲▼で「メモリリセット」を選択し、**(F)** を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。



4 暗証番号 (4桁) を入力する

正しい暗証番号を入力すると、メモリがリセットされます。



ワンポイント

- ファンクションキー (**(F1)** ~ **(F3)**) に登録された内容は、メモリリセットでは消去されません。ファンクションキーについての詳細は、「ファンクションキーを利用する」(→P.54)を参照してください。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 正しい暗証番号を入力しないと、メモリをリセットすることはできません。お買い求め時の暗証番号は「0000」に設定されています。

4

便利な使い方

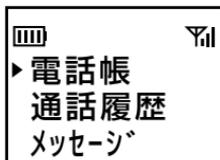
機能をリセットする

各機能の設定内容をリセットして、お買い求め時の設定に戻すことができます。リセットできる機能は次のとおりです（→P.114）。

- ・着信タイプ
- ・着信音量
- ・パイプレータ
- ・受話音量
- ・キー操作音
- ・発番号通知
- ・バックライト
- ・弱電界アラーム
- ・低電圧アラーム
- ・電話帳禁止
- ・クイック通話 / クイック切断
- ・内線表示
- ・オートロック
- ・特番付加
- ・電話帳検索指定
- ・PHS 着信タイプ
- ・発G 着信タイプ

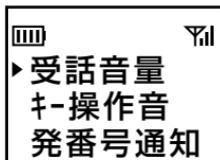
1 待受画面で **F** を押す

メインメニューが表示されます。



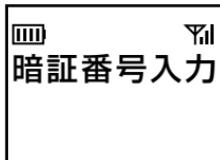
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、**F** を押す

サービスメニューが表示されます。



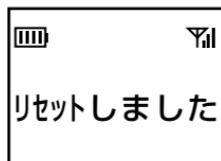
3 ▲▼で「機能リセット」を選択し、**F** を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。



4 暗証番号（4桁）を入力する

正しい暗証番号を入力すると、各機能の設定内容がリセットされます。



ワンポイント

- ファンクションキー（**F1**～**F3**）に登録された内容は、機能リセットでは消去されません。ファンクションキーについての詳細は、「ファンクションキーを利用する」(→P.54)を参照してください。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

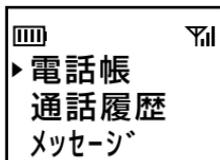
- 正しい暗証番号を入力しないと、設定をリセットすることはできません。お買い求め時の暗証番号は「0000」に設定されています。

電話帳を禁止する

電話帳を使用できないように設定することができます。お買い求め時は、電話帳を使用できる設定となっています。

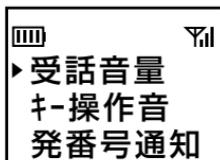
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



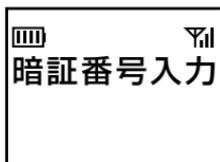
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。



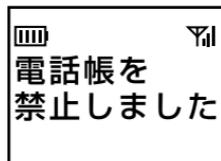
3 ▲▼で「電話帳禁止」を選択し、 を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。



4 暗証番号（4桁）を入力する

正しい暗証番号を入力すると、電話帳が禁止されます。



ワンポイント

- 電話帳禁止を解除するには、電話帳禁止と同じ操作を行います。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- 正しい暗証番号を入力しないと、電話帳を禁止することはできません。お買い求め時の暗証番号は「0000」に設定されています。

電話帳を転送する

2台のデジタルコードレス電話機の間で、電話帳を上書き転送することができます。電話帳の転送の操作は以下の手順で行います。ここではそれぞれについて順に説明します。

1. 機器の接続
2. 電話帳受信側の転送準備
3. 電話帳送信側の転送準備
4. 電話帳の転送

機器を接続する

専用の電話帳転送ケーブル（別売り）で2台の電話機を接続することにより電話帳を転送することができます。

電話帳転送ケーブルはお買い求めの販売店にお問合せください。

1 受信側と送信側の電話機の電源を切る

2 受信側と送信側の電話機の電源を入れる

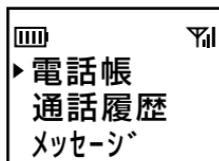
3 電話帳転送ケーブルを受信側と送信側のI/O・充電コネクタに接続する

「ACアダプタや各種コネクタ付きケーブルを電話機へ差し込む向きについて」(→P.24)を参照してください。

電話帳受信側の転送を準備する

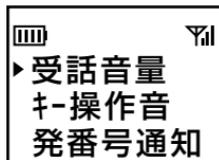
1 待受画面で **F 決定** を押す

メインメニューが表示されます。



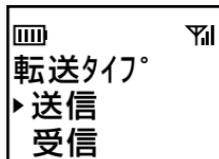
2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、**F 決定** を押す

サービスメニューが表示されます。



3 ▲▼で「電話帳転送」を選択し、**F 決定** を押す

転送タイプ設定画面が表示されます。



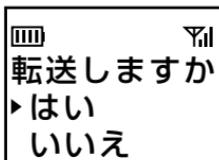
4 ▲▼で転送タイプとして「受信」を選択する

電話帳送信側の転送を準備する

1 「電話帳受信側の転送を準備する」(→P.96)の手順 1～3 と同じ操作を行う

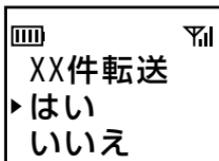
2 ▲▼で転送タイプとして「送信」を選択する

転送確認画面が表示されます。



3 ▲▼で「はい」を選択し、を押す

「XX 件転送」画面が表示されます。



※ XX は転送する電話帳件数です。

4 ▲▼で「はい」を選択する

(((((((((**お知らせ**)))))))))

- 電話帳転送に失敗したときは、受信側では「受信失敗」、送信側では「転送失敗」の画面が表示されます。
- 電話帳転送ケーブルを接続せずに電話帳転送を開始してしまったときは  を押して中止させることができます。

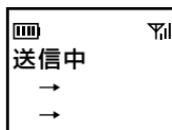
電話帳を転送する

1 受信側と送信側の電話機の準備 (それぞれ「受信」、「はい」を選択) ができたら、 を押す

次のような画面が表示されます。

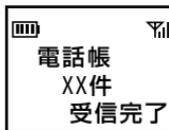


受信側の電話機

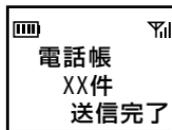


送信側の電話機

正常に転送された場合には、次のように表示されます。



受信側の電話機



送信側の電話機

2 双方の電話機の電源を切り、電話帳転送ケーブルを抜く

電話帳を表示して(→P.46～P.47)、電話帳が正しく転送されたことをご確認ください。

- 本機とデジタルコードレス電話機 UM7588 との間でも、電話帳の送受信ができます。ただし、本機から UM7588 へ電話帳を送信するとき、電話帳件数が 200 件あるいは登録されている電話番号が 200 個を超えている場合はエラーになることがあります。UM7588 へ送信する場合は、本機の電話帳データをいったん PC 上の電話帳編集ツール (別売) を使って編集することを勧めます。

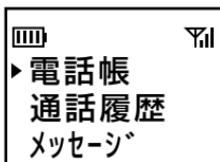
アラーム機能を利用する

アラーム機能は、設定した時刻になったことを画面表示やアラーム通知音でお知らせする機能です（アラーム通知）。お買い求め時は、アラーム通知は「オフ」に設定されています。

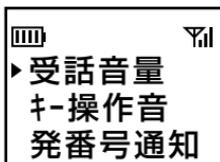
アラームを設定 / 解除する

1 待受画面で  を押す

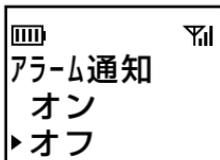
メインメニューが表示されます。

2 ▲▼で「サービス設定」を選択し、 を押す

サービスメニューが表示されます。

3 ▲▼で「アラーム通知」を選択し、 を押す

アラーム通知設定画面が表示されます。

4 ▲▼で項目を選択し、 を押す

「オン」：アラームを設定する

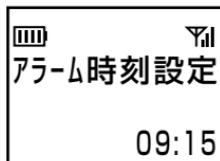
「オフ」：アラームを解除する

「オン」を選択した場合は、アラーム時刻設定画面が表示されます。

5 アラーム設定時刻を、ダイヤルキーで入力する

時（2桁）→分（2桁）の順に入力します。カーソルを移動するには、◀または▶を押します。

（例）9時15分を設定する場合

6 時刻の設定が終了したら、 を押す

設定が完了します。

アラーム通知を「オン」にした場合は、待受画面にアラーム通知アイコン（🔔）が表示されます。



ワンポイント

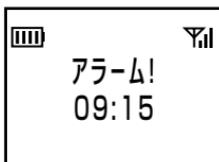
- 手順5で、時刻を変更しない場合は、 を押すと、アラーム通知がオンのまま、待受画面に戻ります。

アラーム通知を止めるには

設定した時刻になると、画面表示やバックライトの点滅、充電・着信ランプの点滅、アラーム通知音、バイブレータの振動により、アラーム設定時刻になったことをお知らせします。このアラーム通知は、1分後に自動的に止まりますが、すぐに止めたい場合は、以下の方法で止めることができます。

1 アラーム設定時刻になる

ディスプレイに、以下のようなアラーム通知が表示され、バックライトと充電・着信ランプが点滅します。



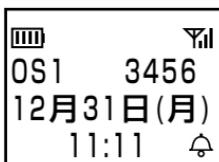
また、アラーム通知音が「ピピピピ…」と鳴り、バイブレータが振動します。

※ バイブレータ(→P.68)をオフに設定している場合は、バイブレータは振動しません。

※ アラーム通知音の音量は、着信音量(→P.56)と連動しています。サイレントモード、マナーモード(→P.58)など、着信音を鳴らさない設定にしている場合は、アラーム通知音は鳴りません。

2 いずれかのキーを押す

バックライトの点滅などのアラーム通知が止まり、待受画面に戻ります。



ワンポイント

- アラーム通知開始直後の3秒間は、以外のキーは効きません。アラーム通知をすぐに止めたい場合は  を押してください。
- キーロック中(→P.80)、ダイヤルロック中(→P.82)、またはオートロック中(→P.83)でも、キーを押してアラーム通知を止めることができます。

((((((((((((お知らせ))))))))))

- アラーム通知を止めても、アラームは解除されません。アラームを解除したい場合は、「アラームを設定/解除する」(→P.98)の操作で解除(アラーム通知を「オフ」に設定)してください。
- アラーム通知中に着信が入った場合は、通話が終了した後、再度アラームが通知されます。
- 電源を切っている状態ではアラームは通知されません。
- メニュー操作などを行っている途中で、アラーム設定時刻になった場合は、操作は中断され、アラームが通知されます。また、通知が終わると待受画面に戻ります。
- 発信中、着信中、通話中にアラーム設定時刻になった場合は、それらの操作が完了し、待受画面に戻ったときにアラームが通知されます。

5 メッセージ送受信機能を利用する

メッセージ送受信機能を利用する

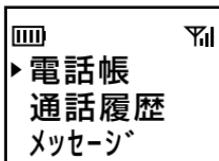
メッセージを送信する

新規メッセージを作成して送信します。送信先の宛先は、電話帳から選択するか、電話番号を直接ダイヤルします。

新規メッセージを入力して送信する

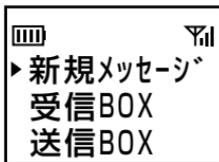
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



2 ▲▼で「メッセージ」を選択し、 を押す

メッセージメニューが表示されます。



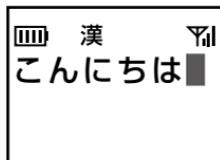
3 ▲▼で「新規メッセージ」を選択し、 を押す

本文入力画面が表示されます。



4 メッセージを入力する

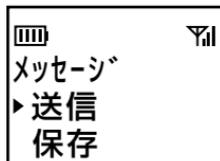
全角で45文字、半角で90文字まで入力できます。



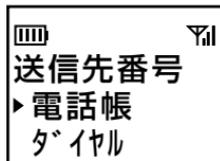
※ 文字入力については、「第3章」の「文字入力について」(→ P.36)を参照してください。

5 本文の入力が終わったら、 を押す

送信 / 保存選択画面が表示されます。



6 ▲▼で「送信」を選択し、 を押す



7 「電話帳」または「ダイヤル」を選択し、を押す

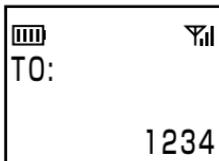
8 送信先の電話番号を入力する

「電話帳」を選択した場合：

「電話帳を表示する」(→P.46～P.47)の手順で電話帳データを表示して、を押します。

「ダイヤル」を選択した場合：

相手の電話番号を入力します。



9 を押す

メッセージが送信されます。

正常に送信された場合は、「送信 OK」と表示されます。

ワンポイント

- **本文を入力し直すには**
本文入力画面で  を長押し(約2秒以上)すると、入力した内容がすべて消去され、最初から入力し直すことができます。
- **入力したメッセージを保存するには**
入力したメッセージを送信しないで保存するには、手順5の画面で「保存」を選択します。
- **メッセージの保存先**
保存したメッセージ、送信したメッセージ、送信できなかったメッセージは、すべて送信BOXに保存されます。
- **メッセージ入力中に電話がかかってきた場合は**
編集中のメッセージは送信BOXに保存されます。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- メッセージを正常に送信できなかった場合は、「送信 NG」と表示されます。
- メッセージ送受信機能は本機同士の場合のみ本取扱説明書に記載する動作を保証しております。
本機以外の電話機とのメッセージ送受信は本取扱説明書に記載した動作をしない場合があります。

5 メッセージ送受信機能を利用する

受信したメッセージを読む

受信したメッセージを読みます。新規のメッセージを受信したときは、待受画面に受信メッセージアイコンが表示されます。

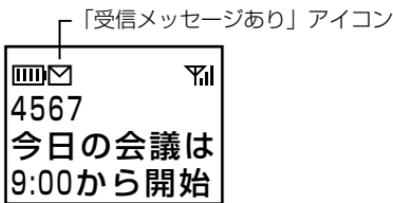
受信したメッセージは、受信BOXに保存されます。受信BOXに保存できるメッセージの件数は10件までです。

メッセージを受信したとき

メッセージを受信すると、メッセージ受信音が鳴り、メッセージ受信画面が表示されます。また、約3秒間、バックライトと充電・着信ランプが点滅します。

 または  を押すと、メッセージ受信音、バックライト、充電・着信ランプの点滅を停止することができます。

受信したメッセージがあるときは、待受画面に「受信メッセージあり」アイコンが表示されます。「受信メッセージあり」アイコンは、未読のメッセージを読み終わると消えます。



メッセージ受信画面

メッセージ受信画面には、相手の電話番号とメッセージの本文が一部表示されます。受信メッセージの相手が電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに相手の名前が表示されます。

メッセージの続きを読む場合は、 または  を押して、待受画面に戻ったあと、「メッセージを読む」の操作をしてください（→P.103）。

ワンポイント

- メッセージ受信画面から電話をかけることはできません

電話をかける場合は  または  を押して、待受画面に戻ったあと「電話をかける」の操作をしてください（→P.29）。

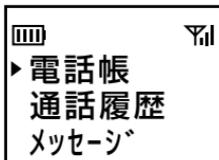
(((((((((((((お知らせ)))))))))))

- メッセージ受信音は変更できません。

メッセージを読む

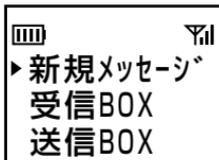
1 待受画面で を押す

メインメニューが表示されます。



2 ▲▼で「メッセージ」を選択し、 を押す

メッセージメニューが表示されます。



3 ▲▼で「受信BOX」を選択し、 を押す

受信メッセージ一覧画面が表示されます。

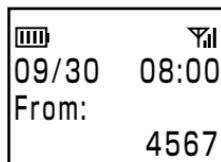
未読のメッセージには「受信メッセージ未読」アイコンが表示されています。

「受信メッセージ未読」アイコン



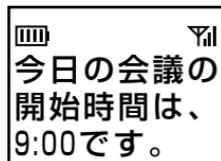
4 ▲▼で読みたいメッセージを選択し、 を押す

受信メッセージ詳細画面が表示されません。



5 ▼▲を押す

受信メッセージが画面に表示されます。▲▼で画面を1行ずつスクロールします。



5
メッセージ送受信
機能を利用する

受信したメッセージを読む

返信メッセージを送る

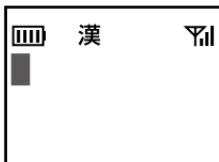
- 1** 受信メッセージ詳細画面で、
 を押す

受信メッセージメニューが表示されます。



- 2** ▲▼で「返信」を選択し、
 を押す

メッセージ入力画面が表示されます。

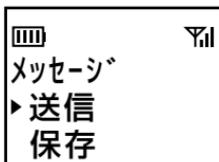


- 3** 返信メッセージを入力し、
 を押す

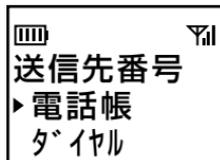
※ メッセージの入力については「新規メッセージを入力して送信する」(→P.100)の手順4を参照してください。

- 4** 本文の入力が終わったら、
 を押す

送信 / 保存選択画面が表示されます。



- 5** ▲▼で「送信」を選択し、
 を押す



- 6** 「電話帳」または「ダイアル」
 を選択し、
 を押す

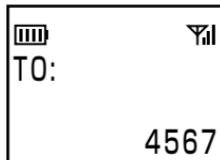
- 7** 返信先の電話番号を入力する

「電話帳」を選択した場合：

「電話帳を表示する」(→P.46～P.47)の手順で電話帳データを表示して、
 を押します。

「ダイアル」を選択した場合：

返信相手の電話番号が表示されます。



- 8**  を押す

メッセージが送信されます。

正常に送信された場合は、「送信 OK」と表示されます。

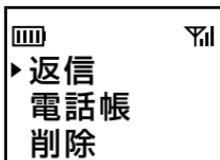
ワンポイント

- 手順7で、電話帳検索または電話番号を入力することにより、他の相手に送信することができます。

電話帳に登録する

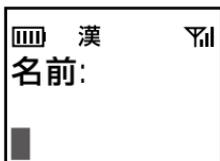
1 受信メッセージ詳細画面で、 決定 を押す

受信メッセージメニューが表示されます。



2 ▲▼で「電話帳」を選択し、 決定 を押す

名前の入力画面が表示されます。



3 名前を入力して電話帳に登録する

※「電話帳に登録する」(→P.42)を参照してください。

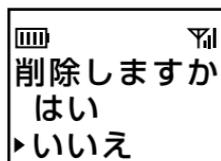
メッセージを削除する

1 受信メッセージ詳細画面で、 決定 を押す

受信メッセージメニューが表示されます。

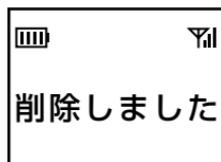


2 ▲▼で「削除」を選択し、 決定 を押す



3 ▲▼で「はい」を選択し、 決定 を押す

メッセージが削除されます。



((((((((お知らせ))))))))

- メッセージ送受信機能は本機同士の場合のみ本取扱説明書に記載する動作を保証しております。本機以外の電話機とのメッセージ送受信は本取扱説明書に記載した動作をしない場合があります。

ワンポイント

- 手順2で「全削除」を選択すると、受信BOXにあるすべてのメッセージを削除できます。

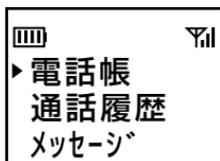
送信BOXのメッセージを管理する

送信済みのメッセージ、送信できなかったメッセージ、新規に入力して保存したメッセージは、すべて送信BOXに保存されます。送信BOXに保存できるメッセージの件数は10件までです。10件を超える場合は、古いメッセージから削除されます。

送信メッセージを表示する

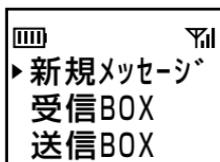
1 待受画面で **(F決定)** を押す

メインメニューが表示されます。



2 ▲▼で「メッセージ」を選択し、**(F決定)** を押す

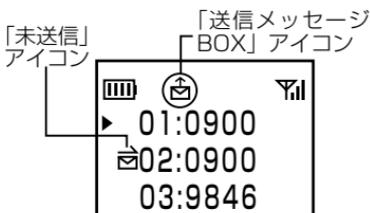
メッセージメニューが表示されます。



3 ▲▼で「送信BOX」を選択し、**(F決定)** を押す

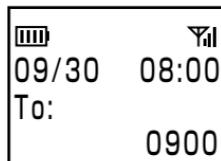
送信メッセージ一覧画面が表示されます。

未送信のメッセージには「送信メッセージ未送信」アイコンが表示されています。



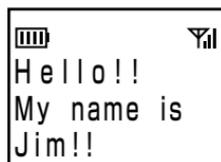
4 ▲▼でメッセージを選択し、**(F決定)** を押す

送信メッセージ詳細画面が表示されません。



5 ▼▲を押す

送信メッセージが画面に表示されます。▲▼で画面を1行ずつスクロールします。



ワンポイント

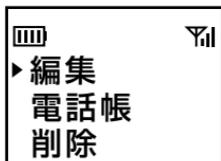
● 表示した送信メッセージを送信するには

手順4の後、**(F決定)** を押し送信メッセージの編集を選択します(→P.107)。メッセージを確認し **(F決定)** を押しします。以降は「新規メッセージを入力して送信する」(→P.100)の手順6以降の操作を行います。

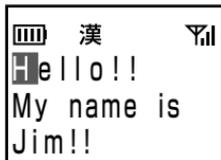
送信メッセージを編集する

1 送信メッセージ詳細画面で、 決定 を押す

送信メッセージメニューが表示されま
す。



2 ▲▼で「編集」を選択し、 決定 を押す



3 送信メッセージを編集する

※ メッセージの入力については「新
規メッセージを入力して送信する」
(→P.100)の手順4を参照してくださ
い。

電話帳に登録する

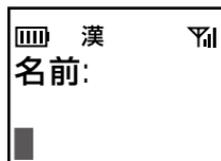
1 送信メッセージ詳細画面で、 決定 を押す

送信メッセージメニューが表示されま
す。



2 ▲▼で「電話帳」を選択し、 決定 を押す

名前を入力画面が表示されます。



3 名前を入力してメッセージの宛 先を電話帳に登録する

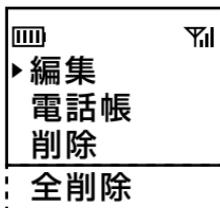
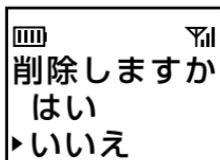
※ 「電話帳に登録する」(→ P.42)を参
照してください。

送信 BOX のメッセージを管理する

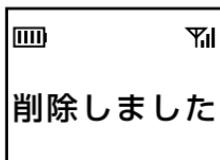
メッセージを削除する

1 送信メッセージ詳細画面で、
F 決定 を押す

送信メッセージメニューが表示されます。

2 ▲▼で「削除」を選択し、
F 決定 を押す3 ▲▼で「はい」を選択し、
F 決定 を押す

メッセージが削除されます。



ワンポイント

- 手順2で「全削除」を選択すると、送信BOXにあるすべてのメッセージを削除できます。

(((((((((((お知らせ))))))))))))

- メッセージ送受信機能は本機同士の場合のみ本取扱説明書に記載する動作を保証しております。
本機以外の電話機とのメッセージ送受信は本取扱説明書に記載した動作をしない場合があります。

■ デジタルコードレス電話機

デジタルコードレス電話機の本体と充電端子を乾いたやわらかい布でふいてください。
充電端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できなくなることがあります。

■ 充電台

充電台の本体と充電端子を乾いたやわらかい布でふいてください。
充電端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できなくなることがあります。



禁止

ぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本製品の変色や変形の原因となることがあります。

ワンポイント

- 汚れがひどいときは
薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

電池パックを交換する

電池パックは消耗品です。デジタルコードレス電話機の使用頻度にもよりますが、長時間充電しても、すぐに電池残量が少なくなる場合は、新しい電池パックに交換してください。

■ 電池パックのご購入について

電池パックをご購入の際は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。



危険

● 電池パックについて

電池パックの取り扱い、次の点にご注意ください。

- ・必ず専用のもをお使いください。
- ・取り出して充電しないでください。
- ・火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
- ・充電には、専用の充電台をお使いください。
- ・端子を短絡させないでください。

■ 電池パック回収のお願い



警告



ご使用済みの電池は一般家庭ゴミとして棄てないで、最寄りの「リサイクル協力店」にご持参いただくか、設置してある「小形充電式電池リサイクルBOX」に入れてください。棄てられた電池がゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。

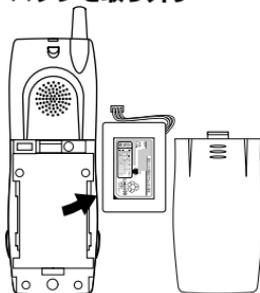
(((((((((お知らせ)))))))))

- 電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 電池パックの交換時に電池パックを外してから1分以内にに取り付けると、日付・時刻設定が不適切な表示をする場合があります。その場合は手順1からやり直してください。
- 電池パックを長持ちさせるためには、いくつかの注意事項をお守りください(→ P.25)。

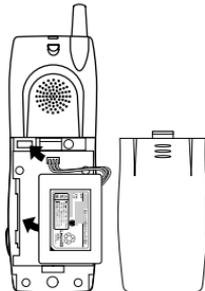
■ 電池パックを交換する

1  を長押し (約 2 秒以上) して、電源を切る

2 デジタルコードレス電話機から電池パックカバーを外し、電池パックを取り外す



3 約 1 分後にデジタルコードレス電話機に新しい電池パックを取り付けて、電池パックカバーを取り付ける



4 デジタルコードレス電話機を充電台に置き、5.5 時間以上充電する

5 電源を入れ、日付と時刻を再設定する (→ P.27)

故障とお考えになる前に、以下の点をご確認ください。

症状	原因	確認事項	参照ページ
電源が入らない	 を長押し(約2秒以上)していない	 を長押し(約2秒以上)してください。	P.25
	電池切れになっている	電池パックを充電してください。	P.23
	電池パックが正しく取り付けられていない	電池パックを正しく取り付けてください。	P.23
電話がかけられない	キーロック/ダイヤルロックを設定している	キーロック/ダイヤルロックを解除してください。	P.80 P.82
	電波が届いていない	電波の届く場所に移動してください。	—
	OSモードが正しく設定されていない	OSモードを正しく設定してください。	P.86
	トランシーバーモード(TRモード)が正しく設定されていない	TRモードを正しく設定してください。内線として使うときはTRモードを解除してください。	P.88
	回線がいっぱいになっている(ビジー音が鳴る)	少し待ってからかけ直してください。	—
着信音が鳴らない	着信音量が「OFF」になっている	着信音量の設定を変更してください。	P.56
	マナーモードに設定している	マナーモードを解除してください。	P.58
	デジタルコードレス電話機の電源が入っていない	電源を入れてください。	P.25
	電波が届いていない	電波の届く場所に移動してください。	—
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離れてください。	—
通話が突然切れる	電波が届いていない	電波の届く場所に移動してください。	—
	電池残量が少なくなっている	充電してください。	P.23

(次ページに続く)

症状	原因	確認事項	参照ページ
通話に雑音が入ったり、通話が途切れる	電波の弱いところにいる / ハンドオーバー (→ P.28) している	電波の強いところへ移動してください。	—
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離れてください。	—
相手の声が小さい	受話音量が小さく設定されている	受話音量の設定を変更してください。	P.57
	レシーバにきちんと耳を当てていない	レシーバにきちんと耳を当ててください。	—
相手の声が大きすぎる	受話音量が大きく設定されている	受話音量の設定を変更してください。	P.57
着信音量やアラーム通知音が小さい	着信音量が小さく設定されている	着信音量の設定を変更してください。	P.56
着信音量やアラーム通知音が大きすぎる	着信音量が大きく設定されている	着信音量の設定を変更してください。	P.56
充電できない	5℃以下または 40℃以上の環境下で充電を行っている	充電・着信ランプが1秒間隔で点滅している場合は、充電可能温度範囲内で充電を行うようにしてください。	P.23
	ACアダプタが正しく接続されていない	ACアダプタの接続を確認し、電源コンセントにしっかり接続してください。	P.23
	充電台に正しく置かれていない	充電台に正しく置いてください。	P.23
	電池パックが過放電状態となっている	充電台に正しく置くか AC アダプタプラグを I/O・充電コネクタに差し込み、約 5 分程度放置してみてください。	P.23 ～ P.24
	充電端子が汚れている	乾いたやわらかい布で充電端子を軽く拭いてください。	P.109
充電してもすぐに使えなくなる	電池パックが消耗している	電池パックを交換してください。	P.110

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。ご了承ください。

名称	デジタルコードレス電話機	充電台
寸法(幅 X 奥行 X 高さ)	約 44 mm × 約 23 mm × 約 119 mm (136 mm : アンテナ含)	約 63 mm × 約 68 mm × 約 40 mm
質量	約 82g	約 42g
使用電源	専用リチウムイオン電池 DC3.7V 720mAh	AC100V 50/60 Hz (ACアダプタ)
連続通話時間	約 7 時間	—
連続待受時間	約 700 時間 (OS モード)	—
	約 150 時間 (TR モード)	—
充電時間	約 5.5 時間	—

※連続通話時間、連続待受時間は使用状態によって変化します。

※ OS モード / TR モードについては、それぞれ「OS モードを設定する」(→ P.86)、「トランシーバーとして使用する」(→ P.88) を参照してください。

■ デジタルコードレスの無線局の種類

無線局	記号	標準規格名
時分割多元接続方式狭帯域デジタルコードレス電話	P	RCR STD - 28

なお、無線局の種類を表す記号は 1.9-P です。無線局の種類は、装置本体の電池収納ケース内の銘板ラベルに記載されています。

この機器の使用周波数帯では、PHS の無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

- この機器は、同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、この機器から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに電波の発射を停止したうえ、お買い求めの販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置等 (例えば、パーティションの設置など) についてご相談ください。
- その他、何かお困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。

各機能の設定値

機能種別	設定範囲	お買い求め時	メモリリセット時	機能リセット時
着信タイプ	リング01～リング19	リング01	－	リング01
着信音量	OFF/音量1～音量5	音量3	－	音量3
バイブレータ	オン/オフ	オフ	－	オフ
受話音量	音量1～音量5	音量3	－	音量3
キー操作音	OFF/音量1～音量5	音量3	－	音量3
発番号通知	オン/オフ	オン	－	オン
バックライト	OFF/10秒/20秒/30秒	10秒	－	10秒
弱電界アラーム	オン/オフ	オン	－	オン
低電圧アラーム	オン/オフ	オン	－	オン
暗証番号	(4桁)	0000	－	－
エニーキーアンサー	オン/オフ/ キーロック中オン	オフ	－	－
電話帳禁止	－	電話帳有効	－	電話帳有効
ファンクションキー	－	消去	－	－
OSモード設定	OS1～OS5 自動切替有/無	OS1 自動切替無	－	－
前回時間	－	消去	－	－
積算時間	－	消去	－	－
マナーモード設定	オン/オフ	オフ	－	－
発信履歴	－	消去	消去	－
着信履歴	－	消去	消去	－
送信メッセージ	－	消去	消去	－
受信メッセージ	－	消去	消去	－
電話帳	－	消去	消去	－
クイック通話 /クイック切断	オン/オフ	オフ	－	オフ
自内線表示	表示/非表示	表示	－	表示
ダイヤルロック	－	ダイヤル ロック無効	－	－
オートロック	オン/オフ	オフ	－	オフ
特番付加	オン/オフ	オフ	－	オフ
コントラスト	1～5	3	－	－

機能種別	設定範囲	お買い求め時	メモリリセット時	機能リセット時
電話帳検索指定	方式選択 / 名前指定 / グループ指定 / メモリ指定	方式選択	—	方式選択
電話帳グループ名称	—	消去	消去	—
PHS 着信タイプ PHS 優先設定 呼出信号 0 ~ 6 内線 / 局線 / 専用線 デフォルト設定 機能切替	有効 / 無効 リング 01 ~ 19 / デフォルト選択 リング 01 ~ 19 / デフォルト選択 リング 01 ~ 19 呼出信号 0 ~ 6 / 内線、局線、専用線	無効 デフォルト選択 デフォルト選択 リング 01 呼出信号 0 ~ 6	—	無効 デフォルト選択 デフォルト選択 リング 01 呼出信号 0 ~ 6
発 G 着信タイプ 発 G 着信設定 デフォルト設定 G 0 ~ 9	有効 / 無効 リング 01 ~ 19 / 指定無 リング 01 ~ 19 / デフォルト選択 / 指定無	無効 指定無 指定無	—	無効 指定無 指定無
アラーム通知	オン / オフ	オフ	—	—

お問い合わせ先

■ 保証書とアフターサービスについて

保証期間（1年間）中の故障につきましては、巻末の保証書に記載している「無料保証規定」に従い、修理対応いたします。修理をご依頼になる場合は、製品と本書をご持参ご提示の上、お申し付けください。

保証・アフターサービスについてご不明な点は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ お問い合わせ先

修理サービスや商品についてのご相談は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

■ 電子情報の消去について

お客様または第三者等が本製品のお取り扱いを誤ったとき、本製品のメモリ等が静電気ノイズの影響を受けたとき、まれに記憶内容が変化、消失することがあります。また、故障修理のときは記憶内容が消去されます。重要な内容は必ず控えておいてください。なお、記憶内容が変化、消失したことによる損害につきましては、弊社に重大な過失、故意がない限り弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証書

品名：デジタルコードレス電話機
型名：UM7700
保証対象：本体
保証期間：（お買い上げ日より）1年間

★お客様	お買い上げ日	年 月 日
	お名前	様
	ご住所	〒 (-)
	電話番号	()

★販売店	住所・店名	
	電話番号	()

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご記入ください。

ハ
キ
リ
カ
タ
リ
ノ
リ
線



< 無料保証規定 >

1. 取扱説明書の注意書きにしたがった正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合は、故障箇所を無料で修理させていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店に製品と本書をご持参ご提示のうえ、お申し付けください。
3. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合
 - (2) 本書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、および本書の字句を書き換えられた場合
 - (3) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (4) お買い上げ後に落とされた場合などによる故障および損傷
 - (5) 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障および損傷
 - (6) 本製品に接続した当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷
 - (7) 付属品などの消耗による交換
 - (8) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. 保証期間内、および、保証期間以降に関わらず、水没や湿気などの水濡れによる故障と判明した場合は修理できませんので、あらかじめご了承ください。

< 修理メモ >

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



索引

記号・アルファベット

*キー	18
#キー	18
AC アダプタ	17, 19
F/ 決定キー	18
I/O・充電コネクタカバー	19
OS モード	86, 87
PHS 着信タイプ	60
Rm アイコン	20, 28
TR 番号	21, 88

ア

アラーム	
弱電界アラーム	84
低電圧アラーム	85
アラーム通知（設定時刻にお知らせする機能）	98
暗証番号	92
アンテナサーチ	74
イヤホンマイク	17, 25, 72
電話を受ける	72
イヤホンマイクカバー	19
エニーキーアンサー	81
オートロック	83
お手入れ	109
音量	
受話音量を調節する	57
着信音量を調節する	56

カ

キー操作音量	69
キーロック	80
機能リセット	94
クイックサイレント	33
クイック通話 / 切断	73
グループ No.	47
グループ名	45, 47
ケーブルを電話機へ差し込む向き	24
検索	
電話帳を検索する	46, 47
固定式アンテナ	18
困ったときは	111
コントラスト	77

索引

サ

時刻設定	27
自内線番号	75
弱電界アラーム	84
充電	23
充電時間	24
充電台	17, 19
充電端子	19
充電・着信ランプ	18
受信BOX	102
受話音量	57
仕様	113
使用可能時間	24
上下左右方向キー	18
スピーカー	19
送信BOX	106

タ

ダイヤルキー	18
ダイヤルロック	82
着信	32
着信音	
PHS 着信タイプ	60
着信回線の種別ごとに設定する	63
呼出信号ごとに設定する	62
着信タイプ	59
発G 着信タイプ	65
着信音量	56
着信タイプ	59
着信履歴	30
通話キー	18
通話時間	
積算時間を調べる	79
前回の通話時間を調べる	78
ディスプレイ	18, 20
低電圧アラーム	85
電源	
電源を入れる	25
電源を切る	25
電源キー	18
転送	35

電池パック	17
交換する	110
取り付ける	23
長持ちさせるためには	25
電池パックカバー	19
電話帳	
禁止する	95
検索方法を設定する	48
削除する	50
受信メッセージから登録する	105
全削除する	51
送信メッセージから登録する	107
転送する	96
電話帳グループに名前をつける	45
電話をかける	52
登録する	42
表示する	46
編集する	49
電話帳禁止	95
電話帳転送	96
電話を受ける	32
電話をかける	29
かかってきた相手にかけ直す	30
電話帳を使ってかける	52
ファンクションキーを使ってかける	55
前にかけた相手にかけ直す	31
特番	71
トランシーバーモード	88

ナ

名前	46
----------	----

ハ

パイプレータ	68
発G着信タイプ	65
バックライト	76
発信履歴	31
発番号通知	70
ハンドオーバー	28
ハンドストラップ取付口	19
表示検索メニュー	48, 52, 53

索引

ファンクションキー	18
電話をかける	55
登録する	54
フッキング	34
返信メッセージ	104
保留	34
保留 / クリアキー	18

マ

マイク (送話口)	18
マナーモード	58
メッセージ	
受信メッセージを削除する	105
新規メッセージを作成する	100
送信する	100
送信メッセージを削除する	108
送信メッセージを表示する	106
送信メッセージを編集する	107
電話帳に登録する	105, 107
返信する	104
メッセージを受信したとき	102
メッセージを読む	103
メニュー	26
メモリ No.	47
メモリリセット	93
文字入力	36

ラ

ランプ	21
リセット	
機能リセット	94
メモリリセット	93
レシーバ (受話口)	18

発行者 : 沖電気工業株式会社
発行年月 : 2014年4月
版数 : 5.0版
取扱説明書番号 : EE3507-2312
取扱説明書手配番号 : 3PP3507-4651P004

